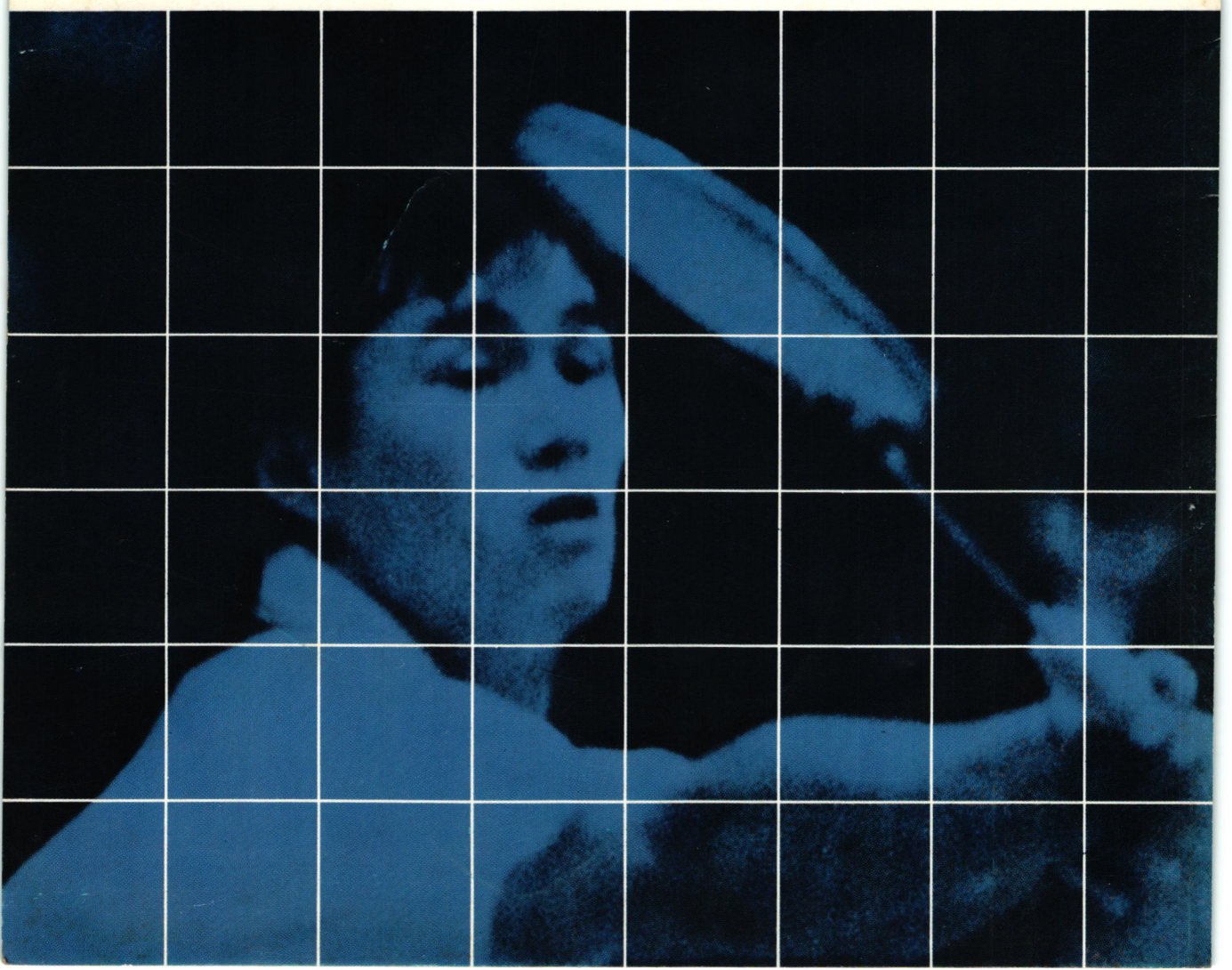
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和52年4月1日発行（毎月1回1日発行）

バドミントン4

日本バドミントン協会　The Badminton World No.90 1977

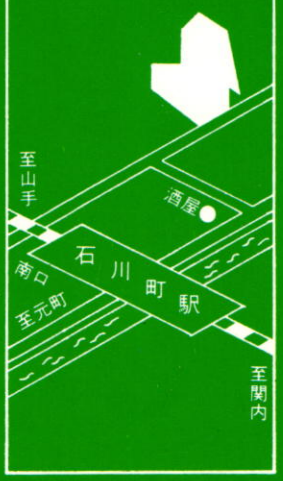


ラケットショップ元町

●横浜店

☎045-651-2020

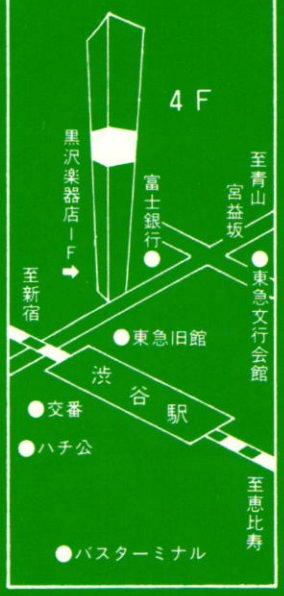
バドミントン
テニス
プロショップ



●渋谷店

☎03-400-7390

世界で初めての
バドミントン
プロショップ



バドミントン4

APR. 1977

第6回国際バドミントン大会

●第一戦●甲府大会……2

プリ，ついにベールを脱ぐ
大物ぞろい，欧州選抜の妙技

●第二戦●大阪大会……4

欧州男子，スマッシュの威力
女子は日本の健闘ひかる

●最終戦●東京大会……6

銭谷，プリを破る
ロックウッド，豹変の好プレイ

乞ご期待　小島一平・湯木博恵の
連載が来月からはじまります……8

〔特別座談会〕
バドミントンは生きがいよ!!……10
ママさん大いに語る

◀われらのクラブ④▶
一週間が待ち遠しい……14

◀読者からの投稿▶
青春よ，もう一度……福田　広美……16

◀大阪からのたより▶
第6回国際バドミントン大阪大会を終えて……36

◇昭和51年度神奈川県中学生バドミントン大会◇……30

◇第5回全日本実業団対全日本学生団体対抗戦◇
男子は電々東京，女子は四条畷短大……32

◇昭和51年度全日本総合バドミントン選手権大会・団体戦◇
栄冠は電々東京(男子)・サントリー(女子)……35

◎バドミントン界バックナンバー販売一覧表……38
◎協会から……39
◎新製品紹介コーナー・New Products Information……40
◎編集室から……42

表紙デザイン・構成＝野間デザイン室
表紙・本文写真＝山田真市，赤星三樹，鷹嶋由美子

第6回国際バドミントン大会・第一戦・甲府大会

プリ、ついにベールを脱ぐ

大物ぞろい、欧州選抜の妙技

第六回国際バドミントン大会第一戦・甲府大会は二月十一日、甲府・県営体育館で、観衆千六百人の中、男女シングルス、ダブルスを六試合を行った。地元の秋山（秋山紙店）、落合（甲府湯田高出身・現四条畷短大）の出場で大いに活気づいた日本だったが、旅の疲れを感じさせぬ欧州選抜は、次第に底力を発揮、キールストロム、フローマン（スウェーデン）や、デルフス、プリ（デンマーク）の男子勢の活躍で初戦を飾った。

◆第一戦

欧州選抜 4（単2－1 複2－1）2 全日本

▽女子ダブルス

ロックウッド・ガードナー（イギリス） 2（15－11 17－14）0 秋本八徳田（サントリー）

▽男子ダブルス

キールストロム・フローマン（スウェーデン） 2（18－13 15－3 12－15）1 池田梅野尾（電々東京）（ヨネックス）

▽男子シングルス

デルフス（デンマーク） 2（15－5 15－3）0 小島（RS元町）

▽女子ダブルス

ボルグストロム・ニールセン（デンマーク） 0（1－15 10－15）2 梅野尾落合（ヨネックス）（四条畷短）

▽女子シングルス

ロックウッド（イギリス） 0（1－11 4－11）2 湯木（カワサキ）

▽男子シングルス

プリ（デンマーク） 2（15－9 15－7 5－15）1 秋山（秋山紙店）

"健闘" 秋山、力つきる

過去二度の対戦に連勝している秋山は、意地を見せプリに挑んだが、今一歩のところで惜しい星を逃した。

前半、秋山は持前の華麗なフットワークを利して、ドリヴンクリアーからプリのフォアヘカットショットを集め、完璧な配球の冴えを見せた。プリが一歩も動けずと言った場面を展開し、後半へ期待をつないだが、次第に身体のほぐれて来たプリは、ドリヴンクリアーに対しては無理をせず、ハイクリアーで時間をかせぎ（日本選手のそれより随分高い、ハイクリアー）、秋山の攻撃のタイミングをはずし、要所要所で放つ豪快なスマッシュを武器に挽回に成功した。

秋山にとっては、二ゲーム目からスピードを欠いた脚力と、とどめを刺せなかったスマッシュに、往年の持久力と鋭さがあったらと思わせた一戦だった。

しかし、観衆はこの両者の熱のこもった対戦にただ感嘆。時にはユーモラスなプリのしぐさにも拍手と歓声で応え、満足しきった様子だった。そして何時に変らぬ秋山の〝国際的な大人の態度〟にも賞讃の拍手が絶えなかった。

"はつらつ" 落合

一方、初の国際試合出場で緊張気味にスタートした落合だったが、パートナー梅野尾の巧みなリードによってすぐに落着きをとり戻し、思い切ったプレイスメントで堂々とした試合ぶりだった。ネット際の処理も素早く、相手のボルグストロム、ニールセンが若手だったこともあって、ヘアピン、プッシュとも的確にこなしていた。初舞台であることを思えば、ダブルスプレイヤーとして今後に期待したい。

全英、複一位、の意地

昨年の全英ダブルス優勝ペア、キールストロム・フローマンにも大きな関心が寄せられた。

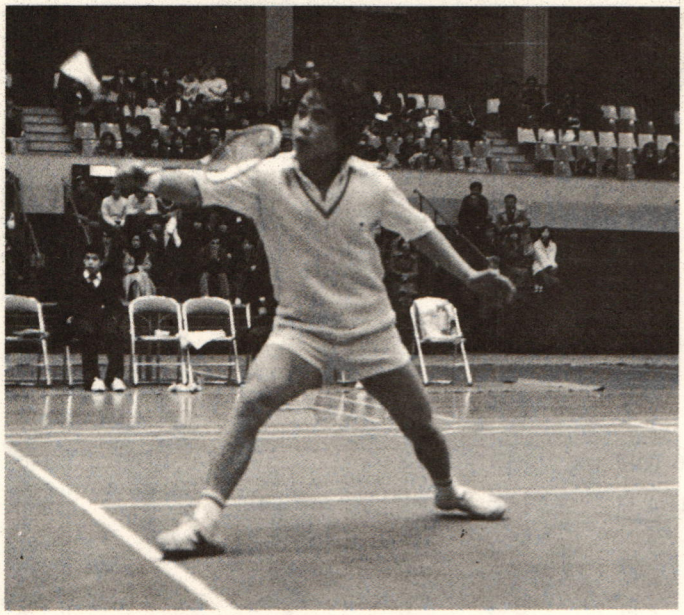
第一ゲームこそ凡ミスを重ねて失ったものの、二ゲーム目は連続攻撃で池田・梅野尾を圧倒。アッと言う間にファイナルに持ち込み、タッチの速さを主体にした攻撃と、切り返しの早いレシーヴ力とで点差以上のものを感じさせた。外人特有の大味な面がなく、打ってよし、守ってよしに加え、終始、真剣にシャトルを追うひたむきな姿には好感が持たれた。

伸び盛り、デルフス

来日前の国内試合でプリを破ったと言うデルフスにも、伸び盛りの勢いが感じられた。小島

が明らかに練習不足だったにせよ、1メートル90余の長身から繰り出す、打点の高いドリヴンクリアー、カット、スマッシュには相当な威力があった。小島も床すれすれで拾うのが精一杯で、お家芸の〝ガッツプレー〟も見られずじまいだった。

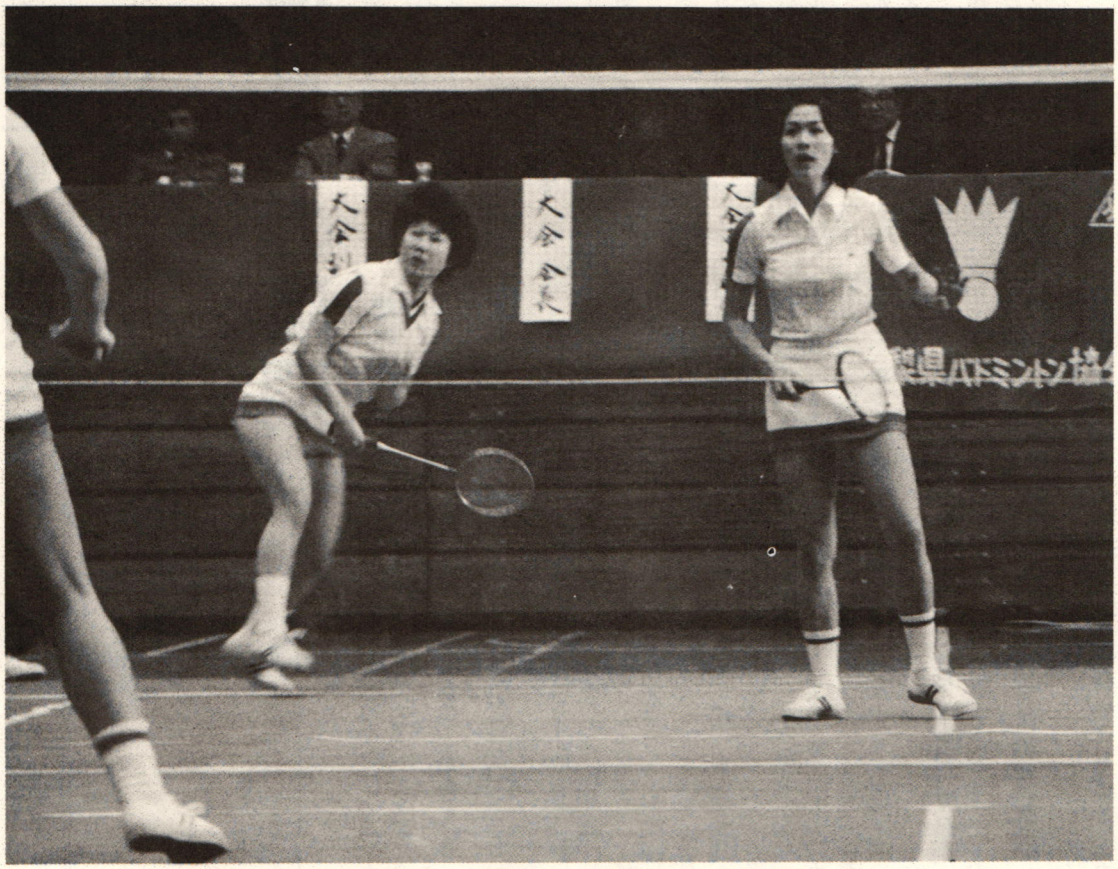
プリもさることながら、このデルフスのシングルスも、日本選手に与えるものは大であろう。円熟したプリとはまた違った、欧州の脅威になりそうである。



場内を沸かした秋山の華麗なプレイ

ぶ厚いプリの胸

先年来日した〝コプス〟もそうだったが、プリの体格もプレイを象徴するかのように重厚だった。強力なスマッシュとバックハンドの資本はこれだと言わんばかりの、太い腕と厚い胸、これは余りにも日本選手と違いすぎた。食生活にその根源があるにせよ、無関心ではすまされない、無言の示唆だろう。



よく頑張った落合のスマッシュ（パートナー梅野尾）

第6回国際バドミントン大会・第二戦・大阪大会

欧州男子、スマッシュの威力

女子は日本の健闘ひかる——

国際大会第二戦は、舞台を大阪に移して、二月十二日、大阪市中央体育館に約二千の観衆を集めて開催された。

全日本はこの日、銭谷の健闘、徳田の金星と頑張ったが、欧州選抜は初戦同様、男子の強豪が順当に勝ち得点を重ね5—4で押し切った。

◆第二戦

欧州選抜 5（単 3—1 / 複 2—3）4 全日本

▽男子ダブルス

プリ（デンマーク）
デルフス（デンマーク）
0
（8—15 / 7—15）
2
飯野（ヨネックス）
土田（電々東京）

キールス（スウェーデン）
トロム・フローマン（スウェーデン）
2
（15—0 / 15—7）
0
遠藤（スワロー化研）
鷲尾

▽男子シングルス

デルフス（デンマーク）
2
（8—15 / 15—10 / 15—11）
1
銭谷（カワサキ）

プリ（デンマーク）
2
（15—11 / 15—10）
0
小島（RS元町）

▽女子シングルス

ロックウッド（イギリス）
1
（10—12 / 11—4 / 6—11）
2
徳田（サントリー）

ニールセン（デンマーク）
2
（11—6 / 11—7）
0
石川（四条畷高）

▽女子ダブルス

ロックウッド・ガードナー（イギリス）
1
（3—15 / 15—11 / 7—15）
2
梅野尾（ヨネックス）
植野（四条畷短）

ボルグストロム・ニールセン（デンマーク）
0
（8—15 / 9—15）
2
谷
秋本幸（サントリー）

▽混合ダブルス

ガードナー・フロー マン
2
（15—5 / 15—1）
0
梅野尾
梅野尾

プリ組、調子出ず

プリ・デルフス対飯野・土田は予想に反して凡試合に終ってしまった。コンビネーションの噛み合わないプリ組の間隙を突くように、飯野・土田のプッシュ、スマッシュが小気味よく決り、危気なく勝利をものにした。ダブルスにおけるデルフスの動きは、少し緩慢なようだ。プリも必死にカバーしようとするが、逆に気負いとなって出てしまった。

遠藤・鷲尾組も、地元の声援を浴びて、股下打ちなども披露したが、二ゲーム目7本とるのがやっとだった。

懸命〝銭谷〟およばず

この日、注目のカードとなったデルフス対銭谷は、文字通り手に汗握る、好試合になった。

大型アタッカー同士の対決とあって、観衆のかたずをのむ中で開始されたが、第一ゲームは銭谷のスマッシュに次ぐスマッシュ。高い打点でのネットプレイと攻撃の手をゆるめず、〝攻撃は最高の防御〟を示した完璧な内容であった。クリアーに対しては全てスマッシュを叩き込み、ネットへの返球には、高い位置からスピンの利いたヘアピンを落とし、相手に攻撃の糸口を掴ませなかった。しかしニゲーム目に入ると、さすがにスピードが鈍り、クリアーに対しクリアーで返球する機会が多くなり、デルフスの長身からのスマッシュを浴びる結果になった。デルフスと互角に打合ったこの一戦は、銭谷にとって、何よりも大きな収穫となったことだろう。

日本女子、気合入る

女子は、今大会元気のないロックウッド（旧姓ベック）から、徳田が球をよく散らし、続いていた不振を一気に吹き飛ばした。持前の粘りが出て来たことは明かるい材料だろう。それにしてもロックウッドの出来には目を覆いたくなる。旅の疲れか、環境の変化からか、シングルス、ダブルスともに精彩がない。

ニールセン対石川も力は五分であったが、シャトルへの執着心に、ニールセンが優っていたようだった。

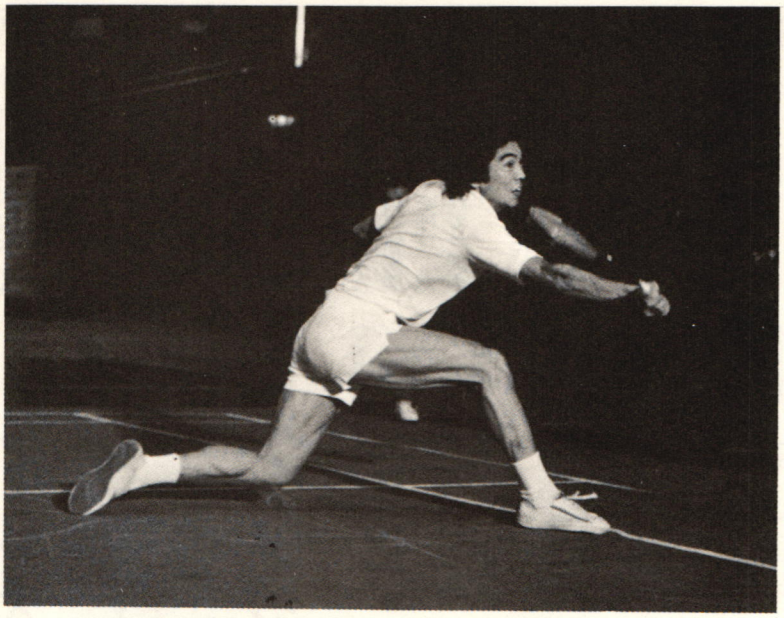
梅野尾・植野組、谷・秋本（幸）組は実力通りの結果であった。

ミックスの差、歴然

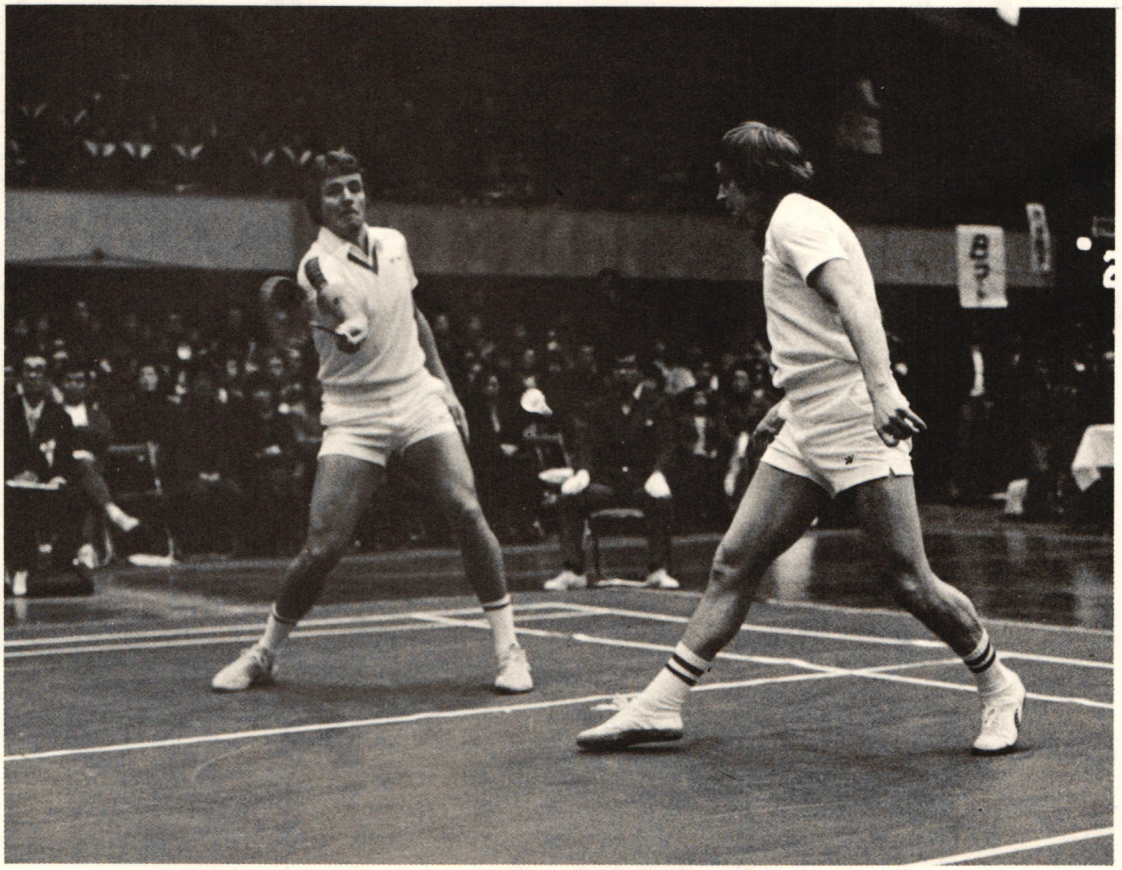
ただミックス・ダブルスに顕著に現われていたように、ガー

ドナーの前衛は特筆ものだった。単にストップするだけの前衛ではなく、振り切ってアタックする場面が数多く見られた。日本選手の前衛は、動きに欠けるのではないかとも思えた。勘の良さ、手首の柔かさも、その要因なのだろうが……

ミックス・ダブルスの栂野尾夫妻が、これほどまでに完璧なきまでにやられるとは、誰が想像したであろうか。ローテーションをとる日本ペアと、余程のことがない限り、女子は前、男子は後の布陣を崩さない欧州ペアのスタイルだけの差であろうか。歴史の古い欧州と、まだまだ競技化し切れない日本ほどに差はあるようだ。



あと一歩までデルフスを追いつめた銭谷



調子の出ぬままに終ったブリ・デルフスのペア

第6回国際バドミントン大会・最終戦・東京大会

銭谷、プリを破る

ロックウッド、豹変の好プレイ——

二月十三日、最終戦を迎えた国際大会は、代々木第二体育館に三千二百の大観衆を呼び、華やいだ雰囲気に包まれて六試合が行なわれた。

連戦の疲れが心配されたが、サービス精神旺盛なプリの妙技、前日までとは別人のようなロックウッドの活躍に、館内は最後まで興奮に沸いていた。

◆第三戦

欧州選抜3（単1—1 複2—2）3全日本

▽男子ダブルス

プリ（デンマーク）
デルフス（デンマーク）
1
9—15 15—12 13—15
2
池田（電々東京）
梅野尾（ヨネックス）

▽女子ダブルス

ニールセン・ボルグストロム（デンマーク）
0
9—15 4—15
2
池田（カワサキ）
近藤（日女体大）

▽男子シングルス

プリ（デンマーク）
0
13—15 8—15
2
銭谷（カワサキ）

▽男子ダブルス

キールストローム・フローマン（スウェーデン）
2
10—15 15—11 15—4
1
飯野（ヨネックス）
土田（電々東京）

▽混合ダブルス

デルフス（デンマーク）
ガードナー（イギリス）
2
18—17 7—15 15—4
1
梅野尾（ヨネックス）
梅野尾（ヨネックス）

▽女子シングルス

ロックウッド（イギリス）
2
11—3 4—11 12—10
1
湯木（カワサキ）

湯木、不覚の一敗

この日、男女シングルスにおいて二つの波乱が生まれた。

まず第一に、あの元気のないロックウッドが甦り、〝女王〟湯木に土をつけたことだ。甲府大会での完敗から雪辱を期していたのか、立ち上がりから気迫のこもった動きを見せ、得意のカットショットを巧みに駆使して湯木の動きを封じ込んだ。ファイナルでは、しきりに攻撃をしかける湯木のドリヴンクリアーに対し、独特のハイバックを多用して逃がれ、あせりを誘い出した。ロックウッドの本領である、強力なバックハンドと、軽いフットワークから繰り出すカットショットが、最終日に漸く発揮された一戦だった。

プリ、やや疲労ぎみ？

もう一つの波乱は、連日による転戦と、第一試合で池田・梅野尾とファイナルを演じ、三十分後に登場したためか、やや集中力に欠けるプリに対し、銭谷の破壊力ある攻撃が産んだ、男子シングルスであった。銭谷はスピーディな攻撃を連続して展開、心理的にも動揺を見せず、プリの重いスマッシュを単発に喰い止めたのは立派であった。この勝利が〝全英〟へどう結びつくか、興味が持たれる。中盤から試合を投げた恰好のプリだったが、選手権のかかった本番では、このように簡単にはいくまい。しかし再び接戦に持ち込むようなことになれば、この一勝は精神的に大きく影響してくるだろう。

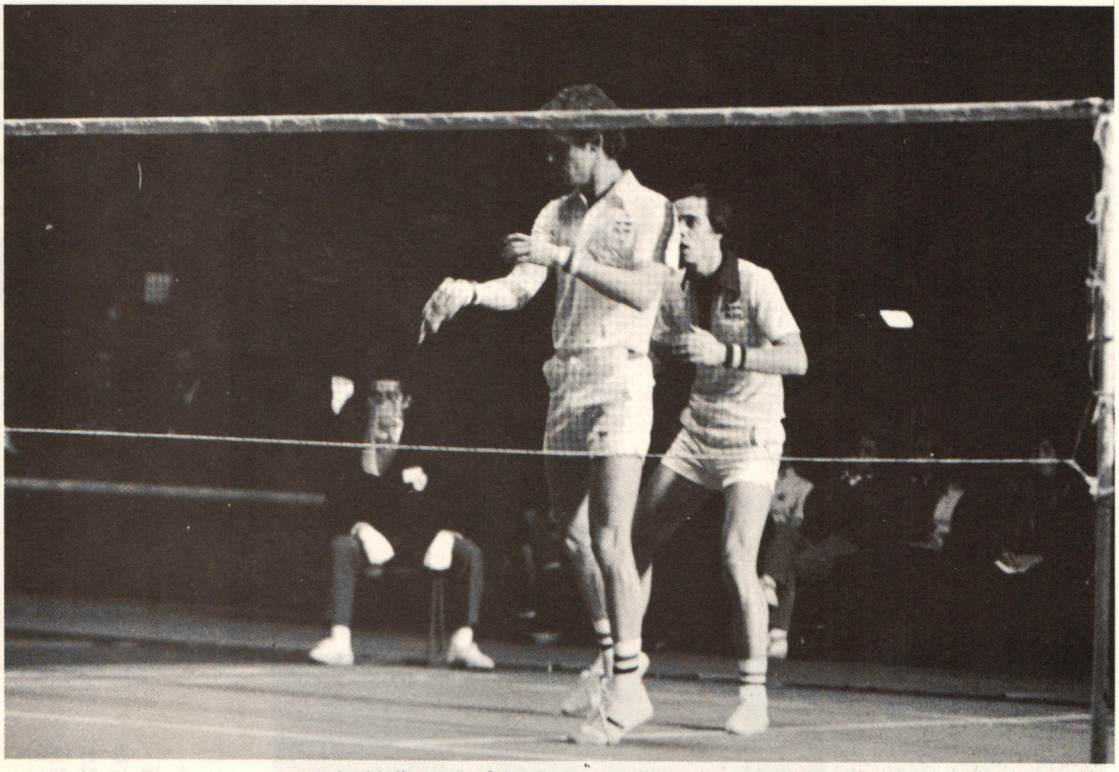
敗れたとはいえ、プリの巧妙なラケットさばきに、お可笑なしぐさに、三千の大観衆から歓声と笑いが絶えなかった。

好漢、キールストローム・フローマン組

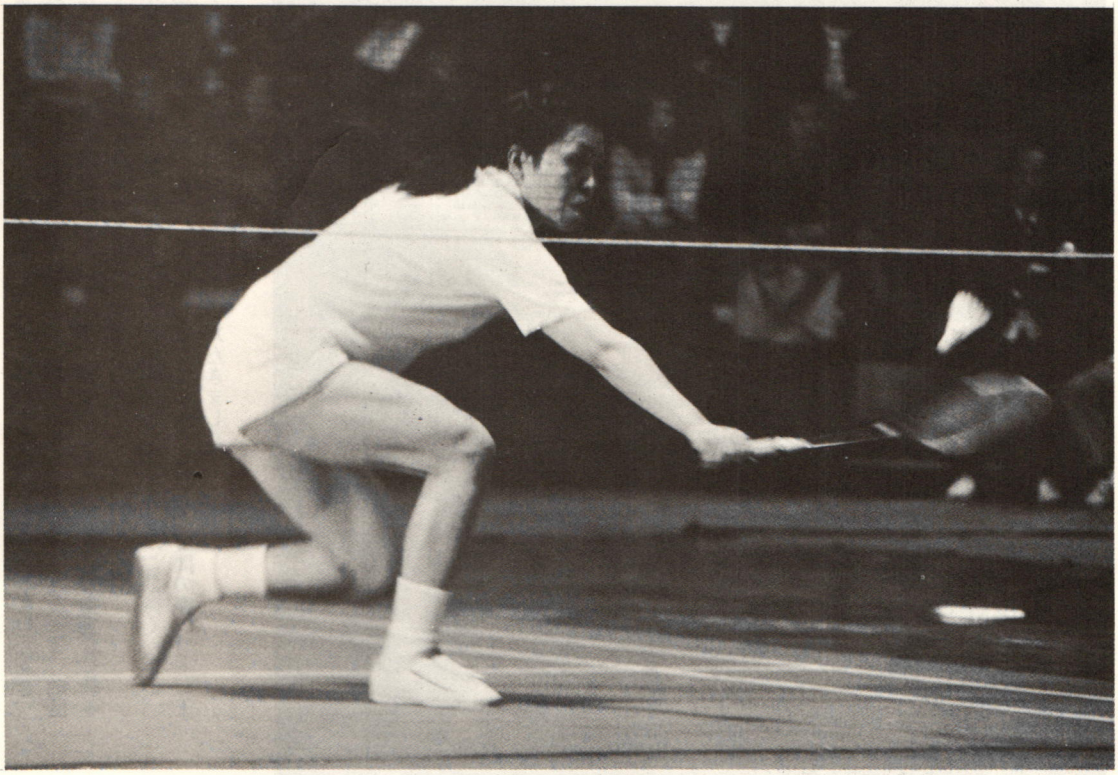
初日の、池田・梅野尾同様、先手をとってリードした飯野・土田だったが、いったんエンジンのかかった、現全英チャンピオンペアの壁はついに破ることが出来なかった。

キールストローム・フローマンともにレシーヴ力に大きな破綻がなく、ふところの深い守りが目についた。しかも、日本選手より連続して強打できると言う点も、ファイナルに強い、取りこぼしのない所以ではないだろうか。

男子シングルスの銭谷の課題〝一ゲーム目のスピード〟が、飯野・土田にも言えるのではないだろうか。三日間を通じ、技術の差以上に、体力の違いをまざまざと見せつけた欧州勢だった。



さすが全英チャンピオン、キールストロム・フローマン



心なしか表情も冴えない湯木

乞ご期待

小島一平の湯木博恵

連載が

来月号からはじまります

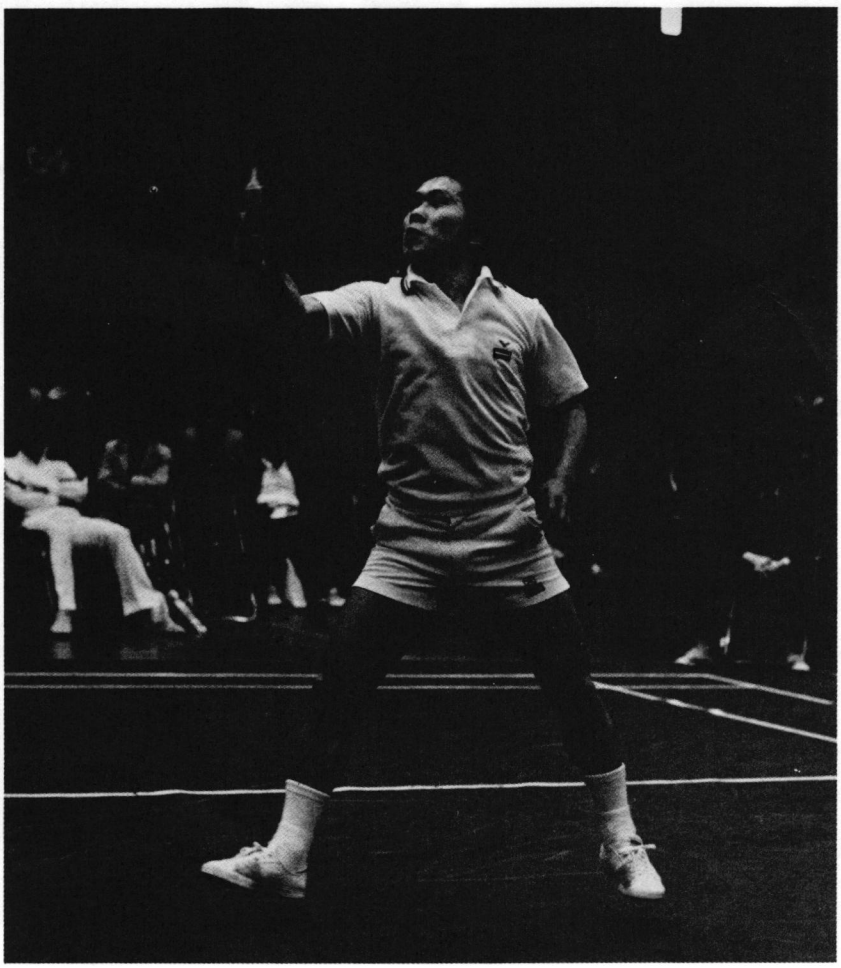
飛込んでみよう

小島　一平

一言で言えば、トレーニングに良いトレーニングも、悪いトレーニングもないと言うことです。器具を使おうが、使うまいが、苦しいものがあれば、それが一番良いトレーニングではないかと思います。質問状を出す人達に、これは酷な言い方かも知れません。おそらく、そのような人は、指導者や先輩などに恵まれない環境にあって、独り悶々と悩んだ人達なのでしょう。出来ることなら、すぐにでも飛んで行って一緒に練習をしたい衝動にかられます。

しかし、それでも敢えて言いたい。練習において、まして体力作りにおいて近道は絶対にあり得ないと。

トラックがなければ、道路を走ればいいじゃないか。バーベルがなければ、鉄棒にぶら下がればいいじゃないか、兎に角、自ら飛び込んで、やってみるだ



いよいよ来月号より、小島一平さん、湯木博恵さんに隔月に登場していただき、ご両人に独自のペンをふるってもらうことになりました。小島一平さんには、前回好評だった、〝体当り実戦教室〟に今一度、味つけをしていただき、豊富な体験を基に、有意義なお話を聞かせてもらいます。

湯木博恵さんにも、新形式の企画でご登場願いますのでどうかご期待ください。

今回は、その〝ごあいさつ〟といたしまして、皆さんからご質問の多い、トレーニングに関するお話を、お二人にしていただきました。

毎日続けること

湯木　博恵

けではないだろうか。誰にも負けない体力さえ作っておけば、チャンスは必ず訪れる。中学で弱くたって、高校で弱くたって、その代り、同年代のチャンピオンにも体力だけは負けないと言うものがあればそれは上手くなるステップになるに違いない。

練習方法やトレーニング方法を求め過ぎてはいけない。どんな人にせよ、指導者と名のつく人に、大きな誤りはないと思う。要は、受けとる側の姿勢にあるはずだ。目先の小さなものにとらわれず、目標を大きく持っていれば、苦しいトレーニングも克服できると思う。

高校で駄目なら大学があるさ、大学で駄目なら社会人で花開けばいい。それには、まず基礎体力。基礎体力がなかったら、何時まで経っても、上達の見込みはないと考えて、地道に努力する以外、手はないでしょう。

今日からでも、すぐに始めてみることです。少しずつ走る。いろいろな運動をしてみる。そして苦しい種目があったら、逃げ出さずに、徹底的にこなしてみて下さい。自然に自信も沸き、運動能力も備わってくること、間違いありません。

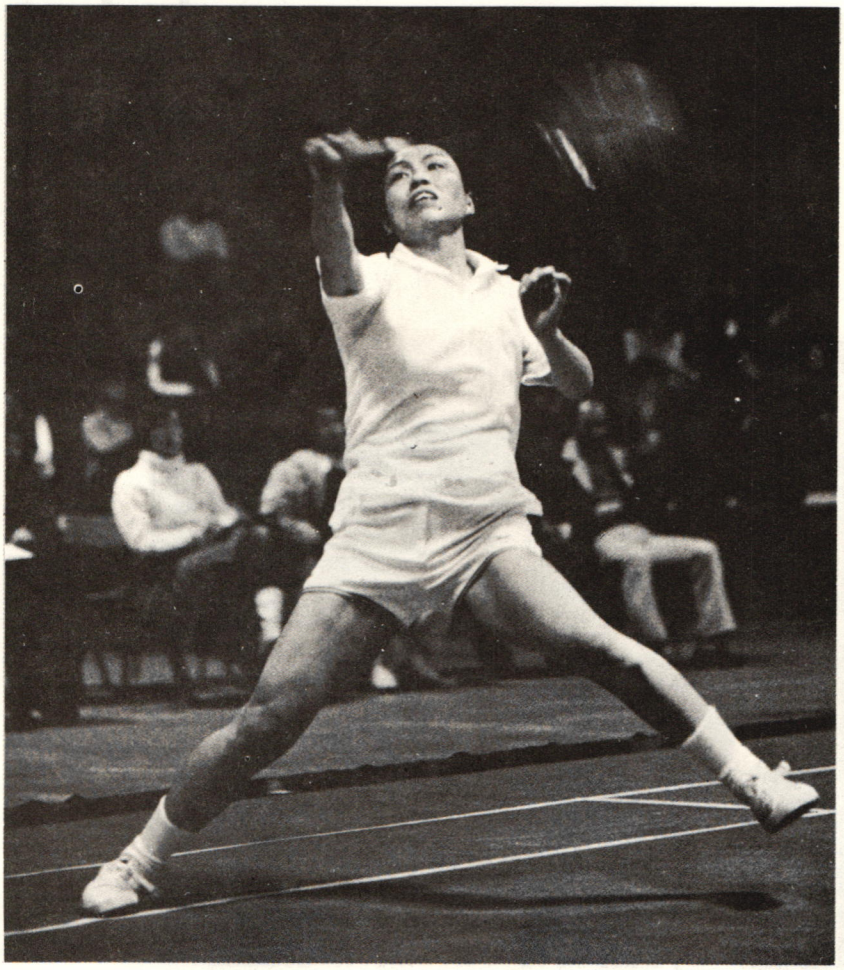
参考になるか、ならないか分りませんが、まず初めに私の消化してきたトレーニングを順に話してみたいと思います。

中学時代は先生に言われた通り、練習前に二百五十メートルの運動場を十周。一日おきに近くのお宮さんへ行き、二百二十段の階段を十往復してました。土曜・日曜には時間があるので、サーキット的なものもやってました。高校時代に縄飛びを教えられ、これは今でも大変役に立っています。旅行・遠征に出る時も必ずバックの底に忍ばせることにしています。手軽にでき、しかも、体力と神経を使うと言う点で、本当にこのことは、先生に感謝しています。

大学に入ってからは、殆んどトレーニングはなく、コート内での練習で、体力と技術と精神力をつける、と言うような練習方法に変ってきました。練習量が多かったこともあって、トレーニング不足を感じたことは一度もありませんでした。下宿の近くの公園へはよく走りに行きましたが……。

社会人になってからは、時間が余りないので、大学へ練習しに行った際に、小さなグランドを二、三十分走り込むようにしています。瞬発力がだんだん衰えてくる年代ですし、私はアキレス腱を切っているので、近頃は少しで走っても現在の筋力を持続させたいと思っています。精神的にも恐らく40パーセント位の割合で、これだけ走っているんだからと言う、支えになっていると思います。

どんなトレーニングをしたらいいのかと質問される方に、私は、少しでも良いから毎日続けて走れる距離を、思いつきで十キロ、二十キロ走るより、続けて走ることに、大きな意義があると思います。



特別座談会

バドミントンは生きがいよ!!

〝ママさん〟大いに語る

〈出席者〉
湯島クラブ……竹内ヒロ子
エースクラブ……山本　鴻子
板橋クラブ……根岸　知子
レディスクラブ……島中　玲子
ユーバークラブ……前田　規子
秋川クラブ……水口あや子

国際大会、アジア招待選手権、全英への出発と、一線級の世界へ羽ばたくニュースが次々と報道され、いよいよシーズン開幕の感が強い昨今ですが、ここにもまた、今や遅しと春を待つ人達の集りがあります。

そうです。今や飛ぶ鳥を落す勢いで発展しつつある〝ママさんバドミントン〟の方々なのです。正式には「全日本家庭婦人バドミントン連盟」に所属される人達なのです。今日は、全国大会を開催するようになって四年目を迎えるこの連盟の中心となって運営にあたり、一方では主力選手として活躍中の六名の〝バドキチママさん〟にお集りいただき、草分け当時の苦労話から、今後のあり方に至るまでを、ラケットならぬお箸を片手に、昼食を頬張りながら(失礼)大いに語っていただきました。

ここでご出席の皆さんに、それぞれに委員長、あるいは○○長といった厳めしい〝長〟の字のつく方々なのですが、終始、なごやかに、正真正銘の〝ママさん〟でありました。

(以下、敬称略)

仲間をみつけるのが大変だった

――まず始めに、ここに居られる皆さんは、それぞれ一つのクラブの産みの親的存在だと思いますので、その当時の苦労話から何か……

竹内　うちのクラブの発足のきっかけになったのは「スポーツ教室」なんです。丁度その頃、家庭婦人を対象に社会体育をと言う声があり、そのためには女性の体育指導員が必要だと言われて私がやり始めた頃でした。そして春と秋にある「スポーツ教室」に何か球技をと言うことで、人に勧められて始めたのがバドミントンだったんです。その教室が終って、このまま解散するのは残念だと言うことで出来たのが「湯島ハイクラブ」なんです。ハイレベルの「ハイ」と高年齢の「ハイ」の意味なんですが、当時、教育委員会を通じて同じような仲間を捜したんですが、なかなか見つからず、やっと廻り会ったのが、杉並と世田谷の交流試合の折りでした。その時はただため息をつくだけ



で感心して見学したのを覚えています。

――ではこの中で一番歴史の古いクラブはどちらなんですか。

山本　古いと言うことでは、私どもの「エースクラブ」なんですが、昔はそれこそ〝強い〟「エースクラブ」だったんですが……。そもそもの始まりは、祖師谷小PTAのサークルだったのが、子供の卒業と同時に辞めなければならないのはつまらないからと出来上がったんです。サークルとしては四十一年から六年間活動し、四十七年に「エースクラブ」が誕生しました。今度はクラブとして時間とお金を費す以上、もう少し上達しようと言うことでコーチを捜して練習をみてもらったんです。するとメキメキ腕を上げて「エースクラブ」は強いと言う評判を頂戴していたんですが、その頃から淋しくママさんバドミントンも盛んになり、腕に覚えのある人達が出てきたり、私達はどんどん年をとって行くと言うことで……、長い間には栄枯盛衰ありですね。（笑い）

根岸　板橋でも四十一年に蓮根団地で教室が開かれたそうです。私達の成増小学校に教室が来たのが四十三年。一日に三時間程度の練習を八回行ないました。これもやはり教室が終了すると同時に、このままで終ってしまうのは勿体ないと言うことで、クラブに発展しました。板橋の場合、団地や小学校が母体になったクラブは幾つかあるのですが、対外試合に単独で出場する技量はないので、その中から選ばれた人達が集って一チームを作り、その際に「板橋クラブ」と言う名称で呼んでいます。板橋には経験者がゼロと言うこと、適切な指導者に恵まれなかったので歴史が古いわりには伸び悩んでいると言うのが現状なんです。

島中　私達の杉並区がほかの区より恵まれているのは、小さくても体育館が四つあること。それと、同じ教室でも杉並の場合、三ヵ月ずつ四つの体育館を回るので、今のように一つの区の中に八つもクラブが出来たんじゃないでしょうか。施設に恵まれていたことが、現在杉並だけでも二百人以上の愛好者が居ることにつながっていると思います。

前田　「ユーバー」の場合もやはり、バドミントン教室から生まれたもので、最初は五・六人の人達で始めたんですが、町田市にも同じようなクラブがあると聞いたので一緒に練習するようになったんです。横浜と町田の集りだから「横町クラブ」とでも呼ぼうかと言っている折、小島一平さんから「ユーバークラブ」はどうですかと言われて、おこがましかったんですが……（笑い）

全員　そんなこと言ったら「レディース」もおこがましいでしょう。（笑い）バドミントンの「エース」もね。（爆笑）

まさにグッドタイミング

――そしてそれらのクラブが集って、関東大会、全国大会への開催へと発展して行く訳なんですが……

竹内　それは杉並に三つ目のクラブが出来上がり、そろそろ大会を開いて試合をしたいと言う気運が強まって仲間を捜したところ、隣りの区にもクラブがある、隣りの県にもあるよ、と言うことからいっそ関東まで枠を広げれば沢山集るじゃないか、そう言うことらしいですね。私達も声を掛けてもらった方ですけど、その時初めて他県の「ユーバー」そのほかの人達と顔を合わせた訳です。

島中　時期としては早くもなく、



遅くもなく、丁度社会体育にも目が向けられて来た時で、まさにグッドタイミングでしたね。

山本　翌年には〝ユーバー杯〟が日本で開催されて、さらに拍車をかける格好になりましたからね。

竹内　それが昂じて、第二回の関東大会を開く際に、もっと広く呼びかけようと言うことで全国大会も同時に開催したんです。でもその頃のバドミントンはマイナースポーツでしたね。女子が世界一なのになぜこんなに人気がないのかと思いました。結局は人口が少ないという理由だけなんでしょうが。

今や生活の中心

山本　でもバドミントンを始めて、私はもともとスポーツ音痴みたいな人間でしたが、こんなに面白いものはないと感じましたね。年をとってからも、体力に合せた楽しみ方が出来るし、服装にしても、若い人と、一流プレイヤーと同じようなものを着るので若返った気分になりますね。

島中　日本協会の提唱する底辺の拡大に、本当に役立っているんじゃないかしら。

前田　お母さんがやっていれば、子供に対する影響は大きいですからねー。

山本　いろいろな面でプラスになることが多いですね。第一生活に張りが出来ます。これが一番大きいですね。

竹内　マイナスな面も少しはあるでしょうが、それをそのままにしないで、プラスに向けるために言うのが、お母さんの姿勢であって欲しいですね。

山本　ですから、長く続けている人は非常に努力している人ですよ。

竹内　それにクラブ活動をしていると、だんだん社会的なものの見方が育ってくると言うことですね。

――ここまで順調にクラブとして、組織として発展して来た中での悩みと言うものはありますか。

竹内　やっぱり施設でしょうね。第一に施設、第二に指導者。

島中　もっと学校を開放してくれたらなあと思いますね。

根岸　板橋ではその点、学校開放は多いんですが、クラブそのものの運営も難しい面が出て来ますね。二年、三年経験して対外試合をしたいなと思う人達もいれば、あくまで美容と健康のためだけにやっている人達もいる。その格差は練習意欲にも反映して来ますから、それを一つにまとめて練習するのは大変なことだと思います。

全員　それはどのクラブにもある悩みでしょうね。

また頑張りましょう！

――関東家庭婦人連盟、全日本家庭婦人連盟と広がって行く中での問題点というと……

竹内　それは連盟設立時の話しを聞いていただけるとお判りになると思いますが、兎に角、仲間の輪を広げたいと言うのが我々の唯一の望みであって、他に何もありません。そんな気持だけだったにも拘らず、今では昔話だから言えますが、色々と批判されたこともありましたし、協力してくれる人達はごく一部の人達でした。でも私達はバドミントンが好きですから、仲間を広げるためでしたら、どの団体にも、何時でも協力を惜しまないつもりでいます。私達の苦汁を人に味あわせては、と思います。バドミントンを好きな人達が、本当に楽しんでやれる環境をつくる、その一心でこれからも輪を広げたいですね。

山本　難しいことは抜きにして、私達はどの組織にも協力を悔しまない、と言う方針で行きたいですね。

（ここで「秋川クラブ」の水口さんが遅れて登場。場が一段と賑わう）

水口　私は先日、盲腸を手術したばかりで、退院して二週間で練習に出たんです。そしたら皆んながすごく大切に扱ってくれるんです。調子に乗って次の日も練習に出たら、今度は親の仇にでも会ったように、私ばかり攻るんです。こちらも負けじとばかり動き回ったら、盲腸のことなんかすっかり忘れてしまって……（笑）

竹内　この人はすごいのよ。秋川の田舎から二時間もかかるのに毎週欠かさずやって来るんだから。

水口　大会の日は朝一番、六時に家を出ないと、間に合わないんです。意地の悪いことに会場がまた遠いんですよ。（爆笑）

山本　皆んな好きなんですよね。

前田　だから見かけより、案外しぶとくて強いんですよ（笑い）基本をしっかりやっていないので、フォームはきれいじゃないけど、試合では結構ねばるんです。おかしな恰好して。（笑い）

竹内　全国大会などでは、遠方から出て来た人達に、なるべく上位に入賞してもらいたいと、組合せに気をつかったりしますが、それがまた家庭婦人ならではの良さでもあり、お互いにそれを許し合えるような組織だったからこそ、ここまで発展して来たし、これからもそうありたいと思います。

島中　いろいろ苦労はあっても、終ってしまえば何でもないことですからね。

全員　本当にこれからも、どんどん仲間を増やして、楽しい集りにして行きましょう。

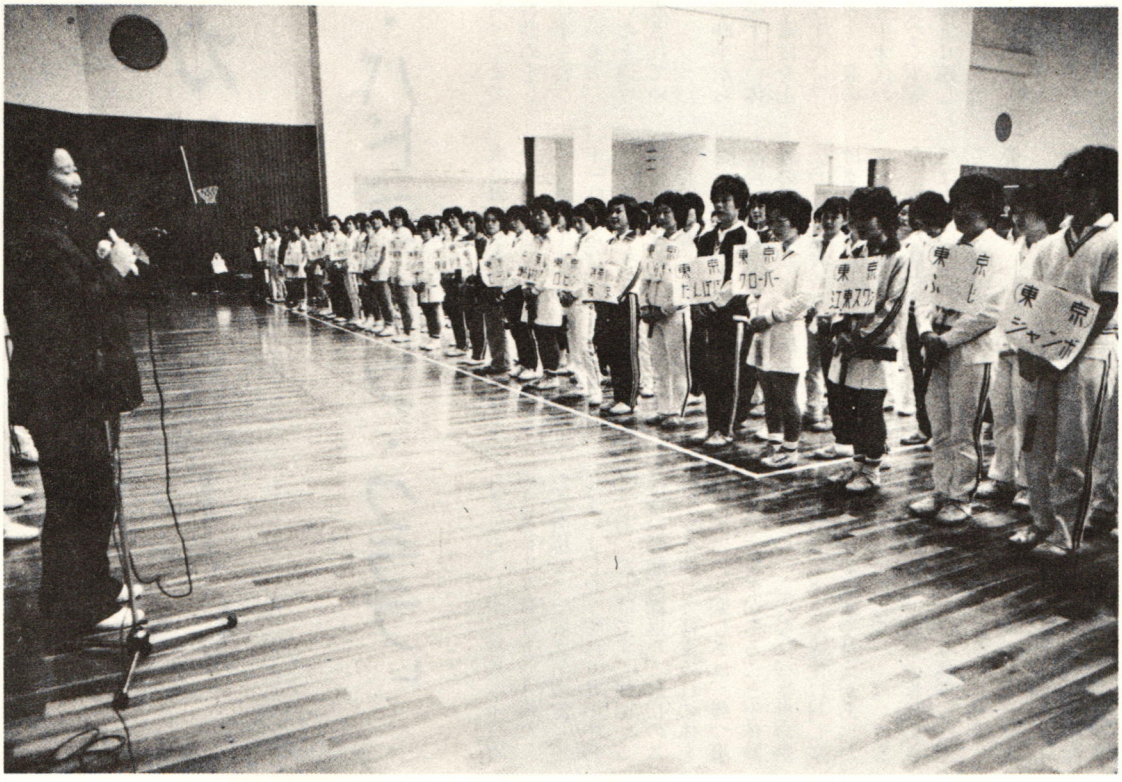
まだまだ話は尽きませんが、積る話はまた次の機会に是非お聞かせ願うとしまして、今日はひとまずここで終させていただきます。皆さんのご協力に深く感謝いたします。

参考までに第一回目からの、全日本家庭婦人バドミントン大会の参加チーム、参加人数をご紹介します。

第一回	十五チーム
	約一一〇名
第二回	四十八チーム
	約三六〇名
第三回	五十六チーム
	約四三〇名



第三回全日本家庭婦人バドミントン大会・開会式



われらのクラブ ④

一週間が待ち遠しい

「カワサキ・バドミントン・クラブ」

私はバドミントンを始めて、早三年有余になる家庭の主婦です。四年程前のことこれと云ったスポーツもしたこともなく全く平凡な生活を送って居りましたが、肥り気味の体型改善と、健康づくりに何かしたいと思って居りました処、たまたま新聞で川崎市の婦人バドミントン教室の募集を知り、早速応募参加して、生れて始めて正式にバドミントンのラケットを手にしました。予想外に激しいスポーツに、驚きとどこ迄若い人達に一緒について行けるかの不安もありましたが、ともかく汗だくになって体育館を走り回った時は、何故今までこんな楽しいことを知らなかったのだろう。もう少し早くから始めれば良かったとの反省とも悔恨ともつかない、あるいは汗を流す楽しみを初めて知ったと云ったそんな気持で一杯になったものでした。講習会を終った段階で、このまゝ終りたくないもっと続けたいと集まった人々で私達のクラブは結成されました。

幸いなことに大変素晴らしい指導者宮川秀樹先生（RS元町）にも恵まれ、又体育館という広い練習の場所もあり、その上山中館長始め職員方の暖かい御支援と御協力のお蔭で、大変素適なムードを持った、素晴らしいクラブに成長しました。現在クラブ員四十名は女性ばかりのグループですが、うら若き独身のお嬢さんからお子さんが六人も居られる若いステキなママや孫が何人かいるおばあちゃんまで、年令の差も巾広く又お勤めをしている方、自分でお仕事を持っている方、商売をしている方、等々生活環境もいろいろと違う多彩なメンバーで構成されています。

毎週火曜日の午前十時半から先生の号令の下に、先ず広い体育館を何回かかけ回り階段を上ったり下りたりでもうすでにフーフーいってしまいます。歳の話は御法度なので、五十才代の私としては全員へだてなく平等に扱って貰えるのが何より嬉しく感じていますので、負けずに頑張らなくてはと思うもの、、歳は争えずだんだん遅くなってしまい、先生の励ましによってどうにか付いて行ける有様です。次に素振りからフットワークと進み、半面コートでのシングルスと続いてまいります。そして十一時半迄びっしりと汗を流しての奮闘です。会の結成された当時は、汗を流すことキャーキャー騒ぐ事と云った体を動かすことによるごく初歩的な歓こびに浸っておりました。その頃の私のシャトルとたわむれる姿と云ったら歌舞伎型あり両手を上げクルクル回るバレー型、ピョンピョンと跳び上る兎型、等々全く珍妙な種々雑多な格好をしては大笑いをし、はしゃぎ回って、先生を随分と困らしたものでした。

二年目に入り、少しはうまくなったと思いこみ私達の力を試したいと、初めて他流試合に挑みました。しかし結果は全員零のストレート負けという惨たんたる有様で、一同意気消沈してしまいました。やはり井の中の蛙であったわけです。何回かこの苦い経験を繰返し、最初のスポーツを通して汗まみれの体を動かすという楽しさは、勝つ事にもウェートがあることを体験しました。こんなに一生懸命熱心に教えて下さる先生に対して、随分とわがままや甘えがあったと申訳ない気持で一っぱいになったものです。勝負の世界のきびしさをちょっぴり体験して私達は苦しみ悩んで初めて勝利につながるのだと反省し、皆一丸となって更に奮起し、練習にもますます熱が入って居ります昨今です。お蔭で最近は少しづゝ

ではありますが、その成果が現われ、勝つ事の勘こびと楽しみをいくらかでも味わうことが出来る様になりました。

こうして、このきびしいが楽しいスポーツをやる事に依って私達は得がたいいろ〳〵なことを学びました。飾りを捨て赤裸裸に自分をさらけ出さざるを得ない私達の集りは必然的に真のコミュニケーションの場となった訳です。先生方を囲んでの仲間達との交流は、実に楽しくさまざまな人間模様を繰広げてくれます。人と人との和、協調性、チームワークの大切さ等、生きた教訓を次から次えと示してくれました。スポーツで汗を流す楽しみと共に、この人間的な広がりは、ともすれば空疎となりがちな私の生活の中のオアシスとなって、私にはとても貴重な存在となっており一週間が待遠しい程の魅力を覚えます。そして私達のこんなに素晴らしいクラブにもっと大勢の人々が参加することによって、尚一層果ては日本一となるまでに大きく成長発展していくことを夢みて、私達一同頑張り続けていきたいと考えています。

それにしても、バドミントンはまだ歴史が浅いせいか、私の年代の方々が非常に少ないことはとても残念です。又練習するコートも少なくて、まだまだ一般的とは云えず、もっと沢山の人が、この楽しいスポーツを気軽に愛好出来る様になればと願はずには居られません。

（代表　石井とみ子）



ミーテングも大事な時間です



館長さんを囲んで…新年会の楽しいひととき



みんな揃いましたか…「ハイ、チーズ」

読者からの投稿

青春よ、もう一度

福田　広美

毎月「バドミントン界」を楽しく読ませていただいております。

私も学生時代バドミントンをやっていました。そのとき一度だけ竹中悦子さん、今は梶野尾悦子さんですね、たしか北陸三県大会のときだったと思いますが、ダブルスの試合で対戦し一本しか取れなかったことを覚えています。なぜ覚えているかといいますと、とても色が白くて、背がスラリと伸びて、それにとてもかわいらしい人で（今でもステキですね）したからです。これからも、もっともっと活躍して若い人たちを引っ張っていってほしいですね。

私も結婚して二児の母親になりましたが、テレビでバドミントンの中継があると、くぎづけになって見ています。

今でも家庭婦人のクラブで、週一回か二回ほど練習をしていますが、まだ子供が小さいので思うようにはできません。

私の所属しているのは「敦賀バードクラブ」といいます。このクラブが誕生したのは、市のバドミントン教室を終えてから、まだものたりないから、クラブとして週一回練習をやっていこうということになり、市立体育館を無料でお借りしてやっています。体育館の近くには気比の松原があり、夏は海水浴客でたいへんにぎやかです。

私たちのクラブは、敦賀市内在住の家庭婦人バドミントン愛好者をもって構成しています。会費は月七〇〇円でやっています。

今思うと、学生時代にもっともっとトレーニングして練習をすればよかったと思います。学生のときは、県で優勝してインターハイへ行ければ、それで十分と思っていたようです。なぜもっと上位の方へ行くように考えなかったのか後悔しています。

クラブの中の人でも「こんなにバドミントンが面白いとは知らなかった」といって、できるものなら毎日でもバドミントンにどっぷりつかっていたいという人もたくさんいます。

今、市のバドミントン協会の原さんがクラブの練習を見てくれますので、みんな学生時代にもどったような錯覚におちいるようです。

そして、時間がたつのがなんと速いのだろうと思います。

二月二十七日に、福井、敦賀、武生の三市親善婦人バドミントン大会が敦賀市立体育館で開催されます。私はその日を楽しみに練習しています。

私の住んでいる敦賀も年々バドミントン愛好者がふえているようです。でもちょっと頭が痛いのはシャトルが消耗品ということです。バド界の87号にも「シャトルの問題」ということが書かれていましたが、たしかにそのとおりだと思います。しかし、切り換えるといっても、そう簡単にはいかないでしょう。

ただ、今のように高い水鳥球でこのままずっと続けられるかどうかは疑問です。

最後になりましたが、日本バドミントン協会三十周年おめでとうございます。これからも編集部の人たちはたいへんでしょうが、バド界の届くのを楽しみに待っていますので、よろしくお願いいたします。

◆編集部から　本誌1月号「読者と編集者」欄に掲載いたしました次の方々と、本稿をお寄せいただきました福田広美様には、記念として**ヨネックス・スポーツ、カワサキラケット**提供の**ミニバッグ**をお送りいたしました。練習にどうぞご活用下さい。

佐賀市・小柳佐知子、砂川市・西田純、宮崎市・小川智己、金沢市・置塩良政、喜多方市・関口明、秋田市・松田淳、岡山市・岡本次郎（敬称略）。

carlton

New Badminton Racket



●PHOTO カーボニック・ブラック

●PHOTO ニュートーナメント



威力壮烈!

20世紀最後の素材といわれる理想の繊維カーボン。繊維に対して直角の方向に、驚ろくべき強さをもち●たわみに富む●するどい弾性とすばやい反発力を生む●しかも耐久性に強い……という最高の条件を備えています。

metro

総発売元 メトロレジャー株式会社 〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

1977年:
バドミントンに
革命!

わずか15g しかないカーボン・スチール・シャフトがバドミントンの常識をすべて覆しました。驚異的なシャフトの弾性とすばらしいバランスでシャトルコックを自由自在にコントロールします。打った瞬間、その違いがはっきりと手に伝わります。今、プレヤー達に絶賛の声を浴びてカールトン＆メトロの技術が勝利を手中におさめました。

カーボニック シリーズ

新発売

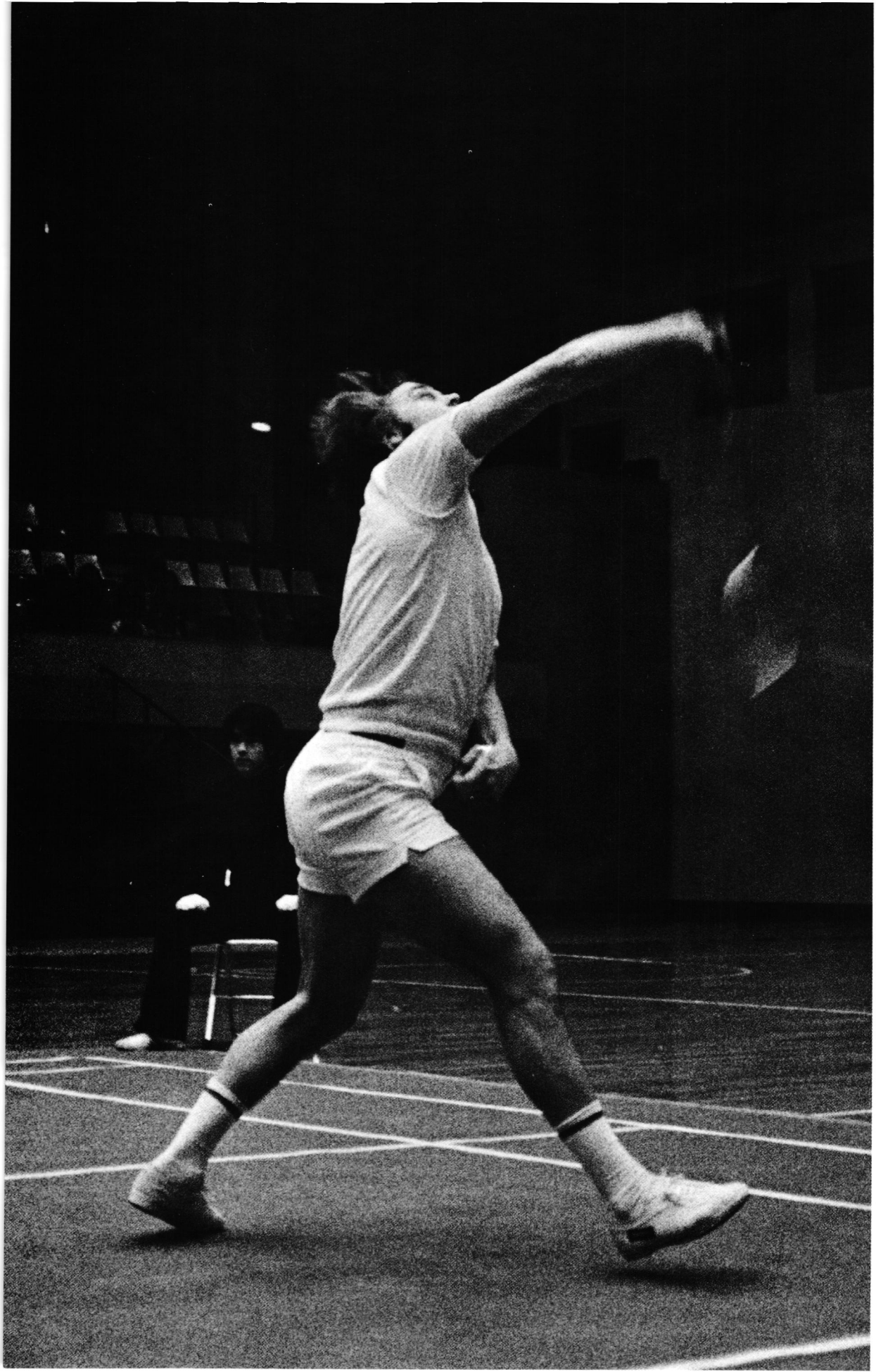
話題騒然、カーボンでこの価格!



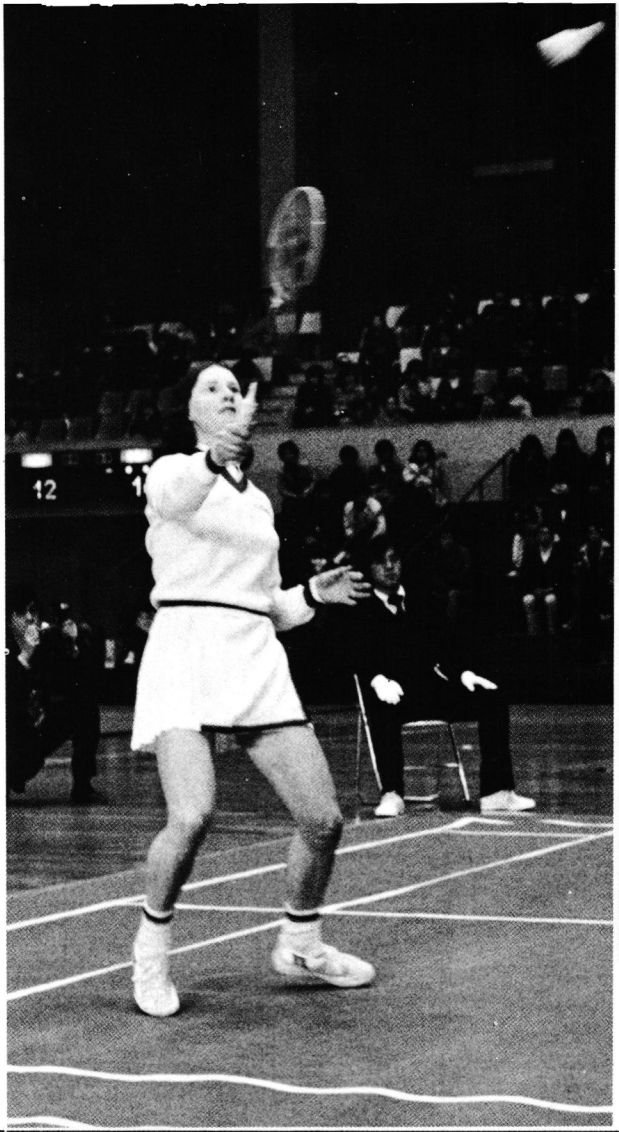
総発売元 メトロレジャー株式会社

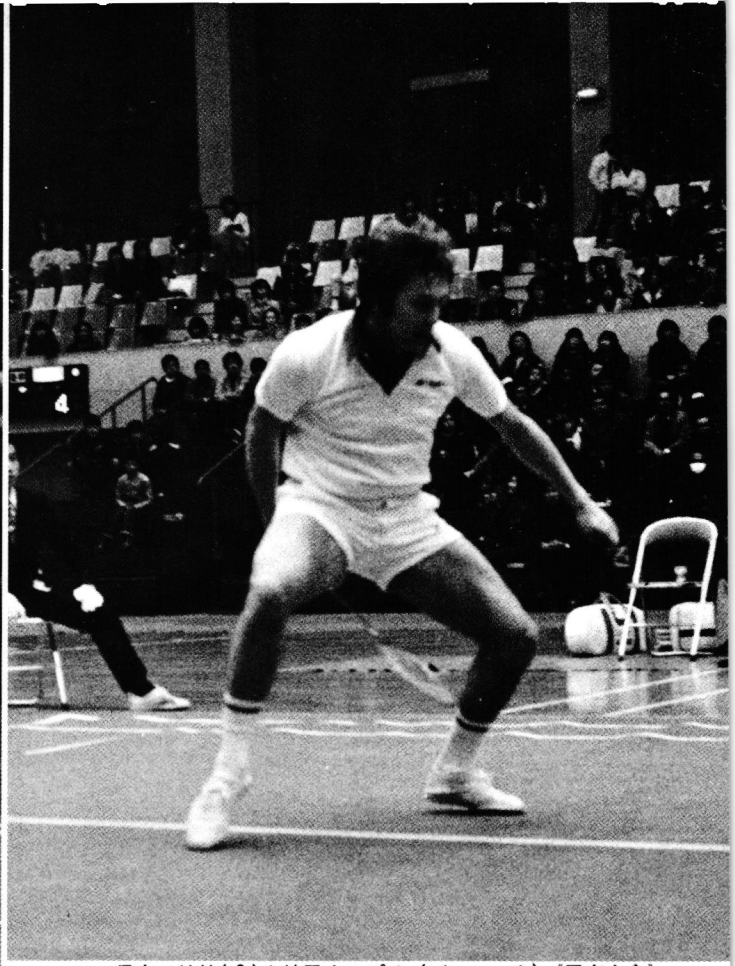
〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

第6回国際バドミントン大会



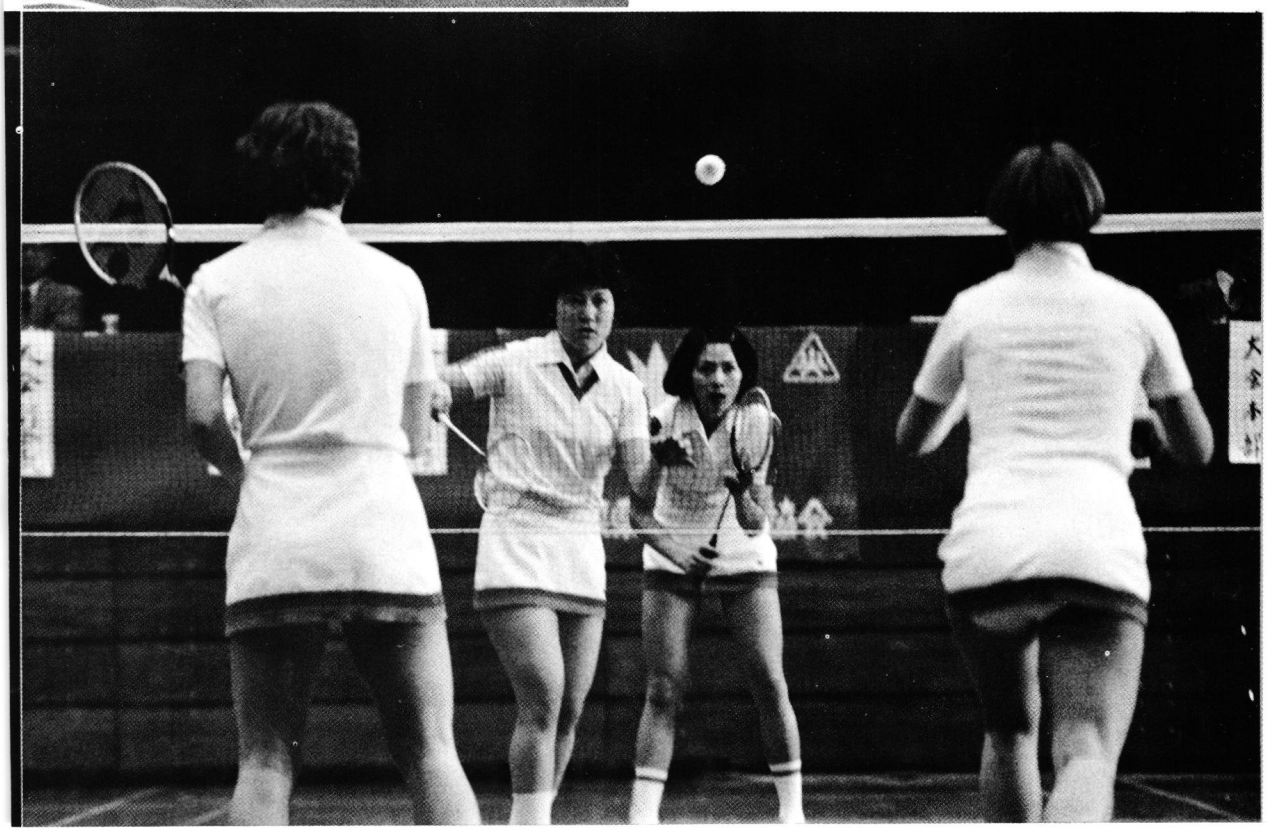
バックの強さをまざまざと見せつけたブリ（デンマーク）《甲府大会》

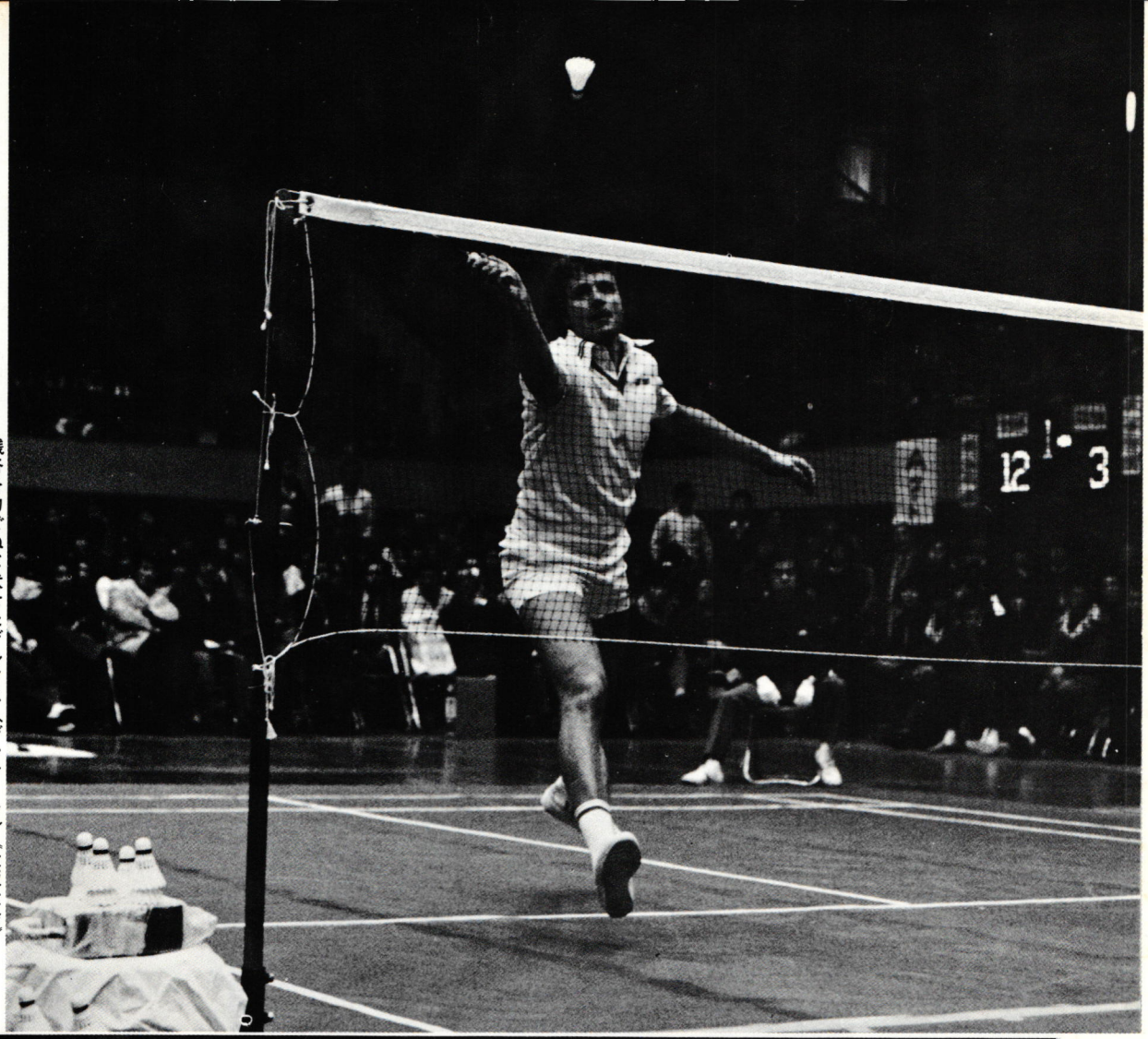




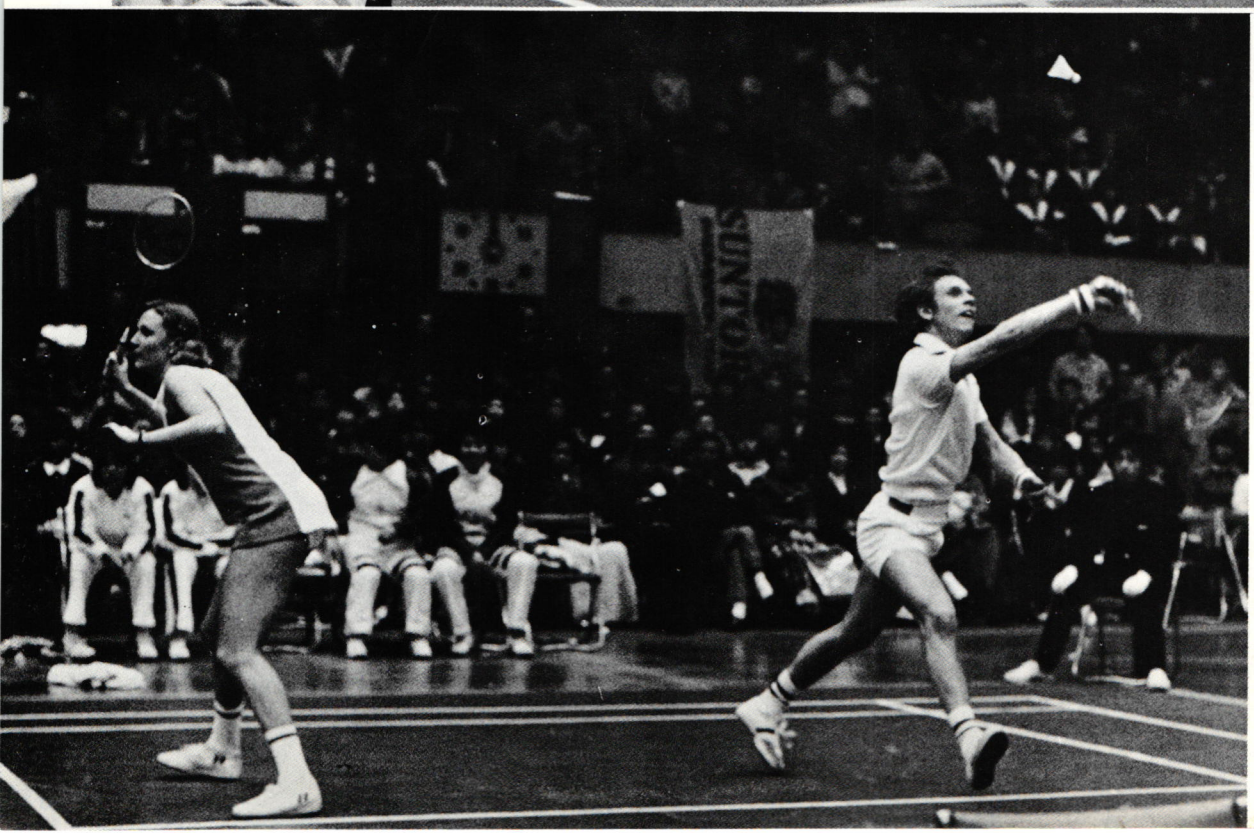
得意の妙技(？)を披露するプリ（デンマーク）《甲府大会》

◀心なしか元気のなかったロッツウッド（イギリス）《甲府大会》

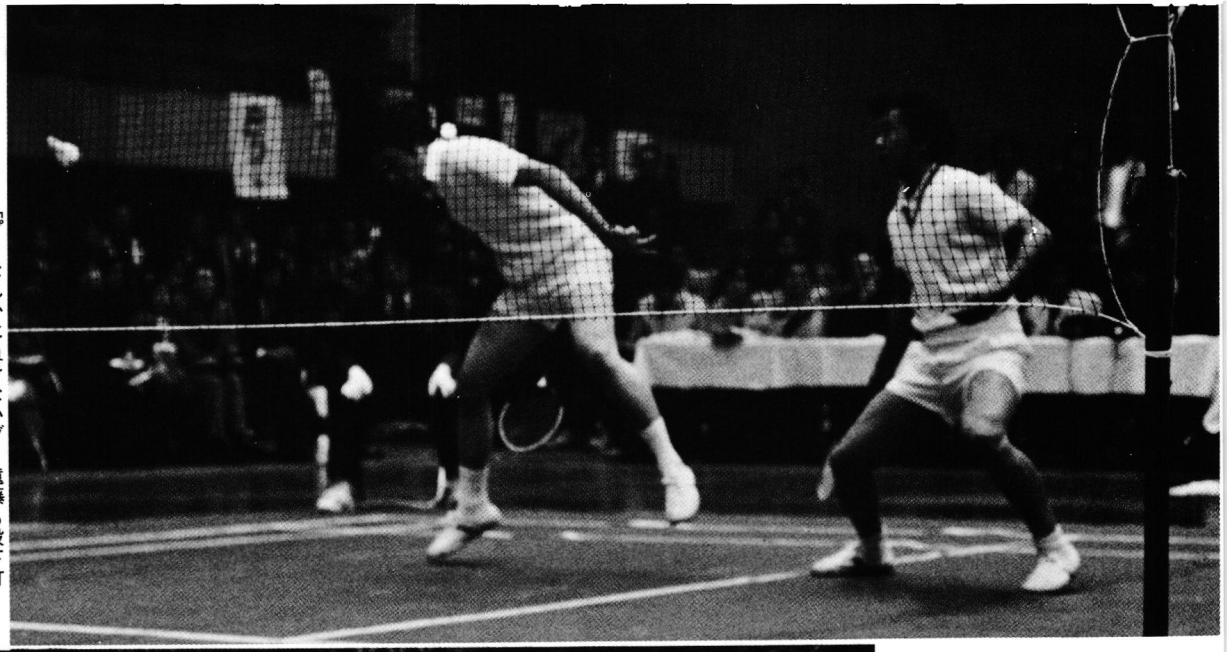




銭谷を力でねじ伏せたデルフス（デンマーク）《大阪大会》



「これがミックスだ」栂野尾夫妻を完封したフローマン（スウェーデン）・ガードナー（イギリス）《大阪大会》



「プリなんかに負けないゾ」遠藤も股下打ちで対抗（パートナー鷲尾）《大阪大会》



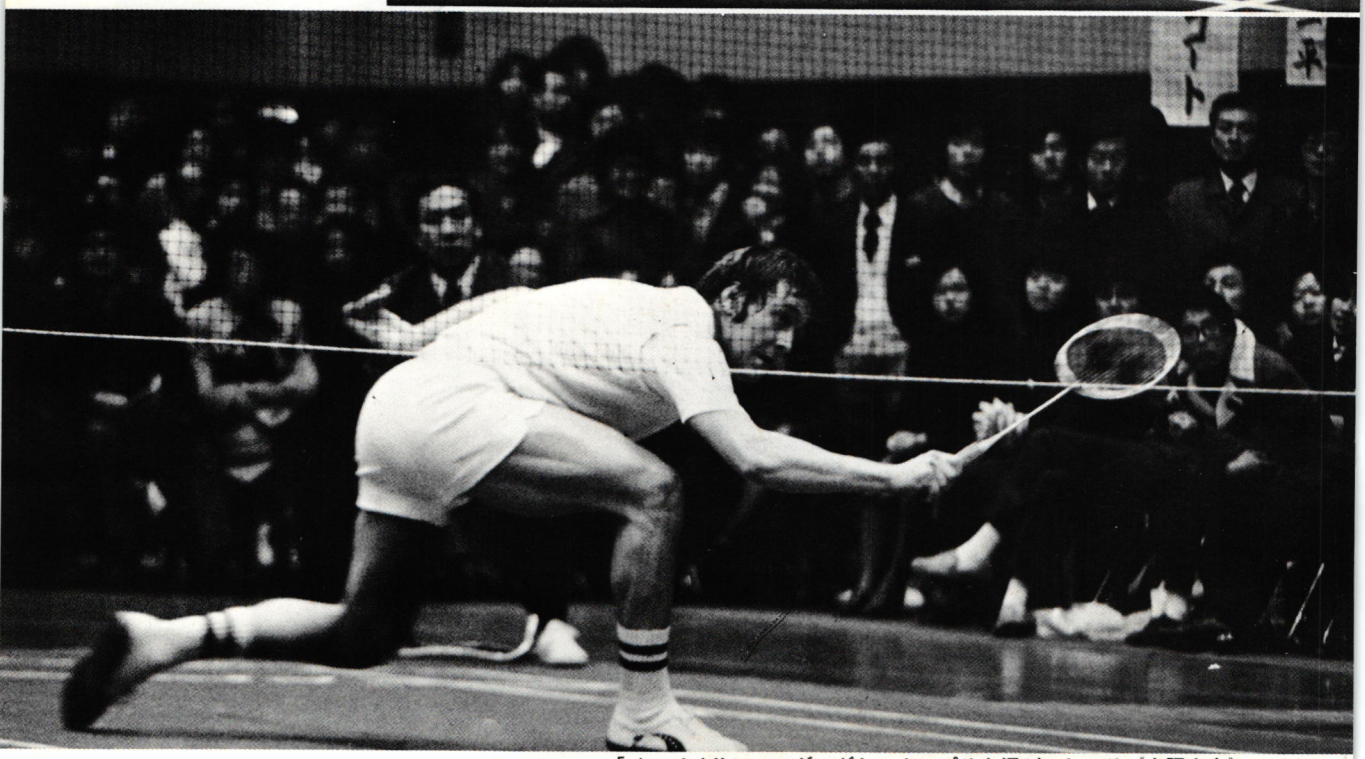
速い攻撃で白星を握った飯野・土田《大阪大会》



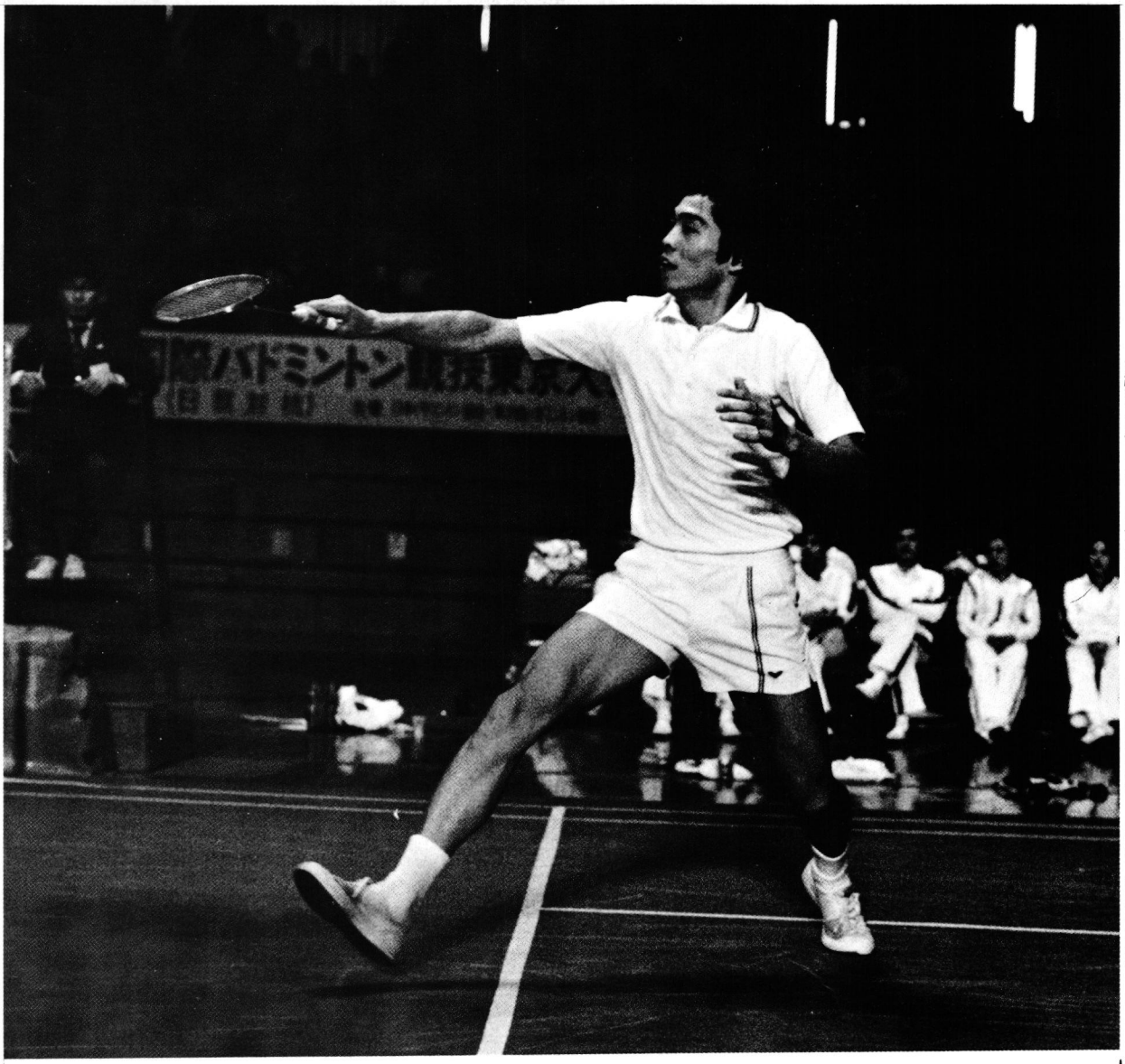
石川を相手に姉さんの貫禄をみせたニールセン（スウェーデン）《大阪大会》



「プリめ、強くなりやがったなあ」手を焼く小島《大阪大会》



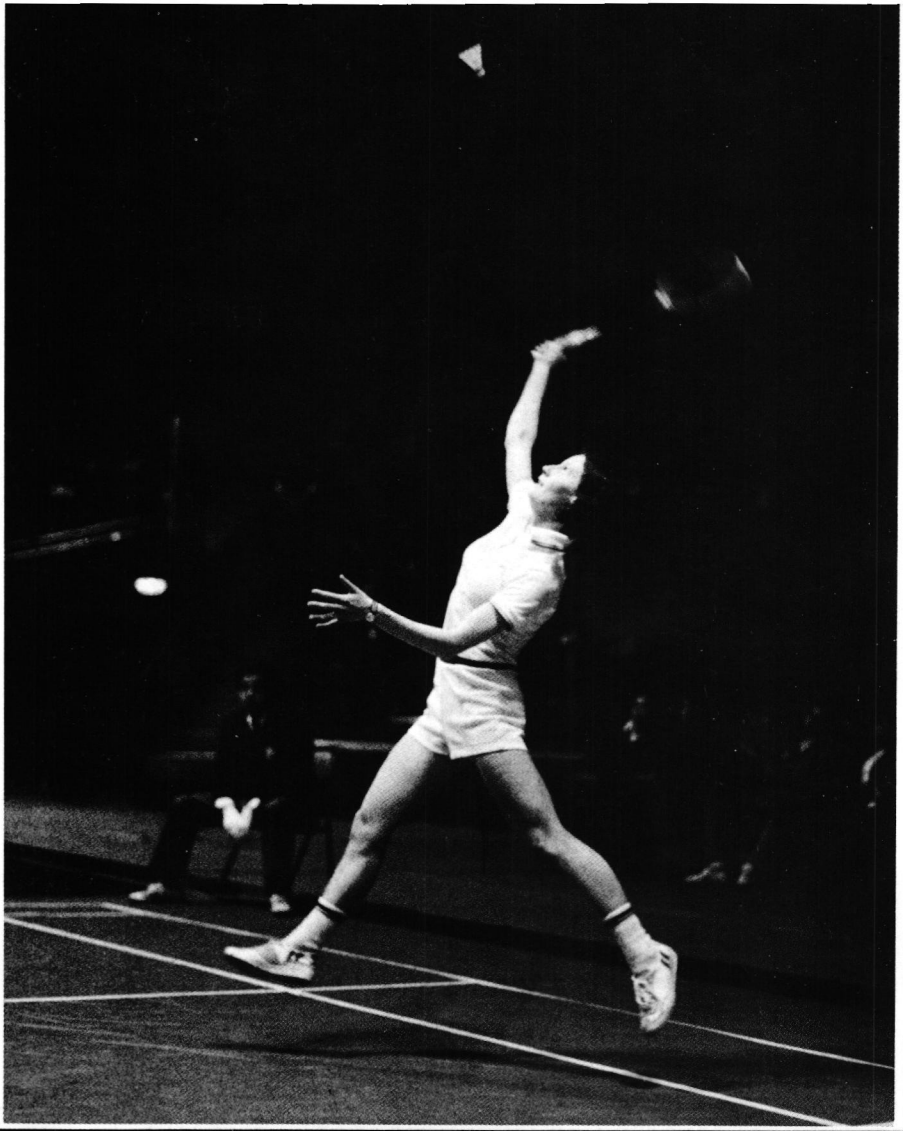
「イッペイサン、マダマダヤルナ」プリも汗びっしょり《大阪大会》



力強いスマッシュと鋭いネットプレーで大金星を飾った銭谷《東京大会》



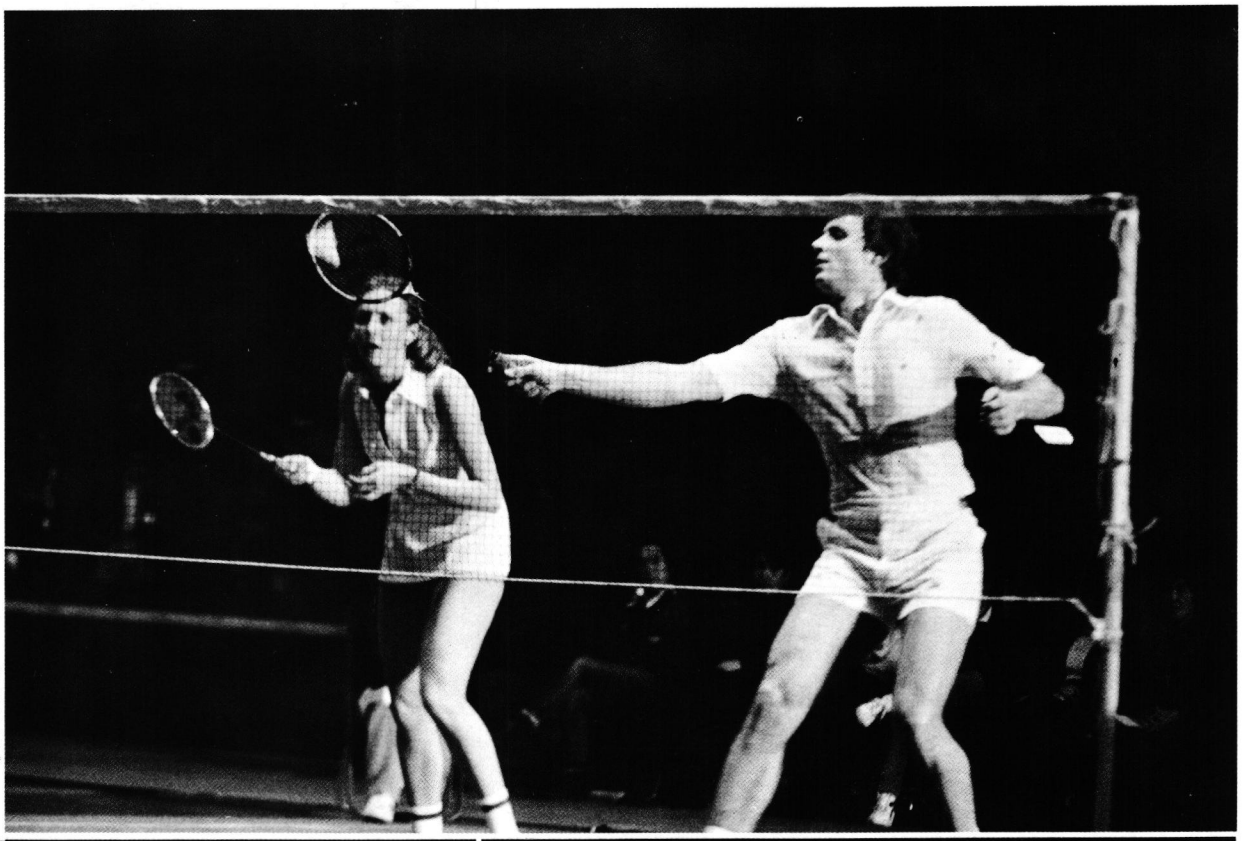
◀「ボク、クタビレマシタ」コートに座りこむプリ《東京大会》



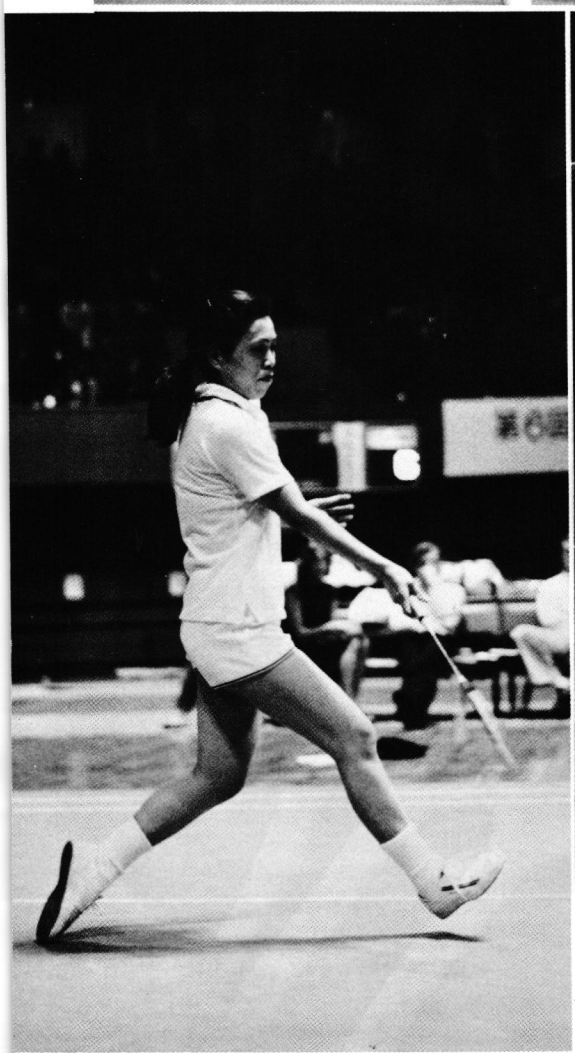
前日までとは別人の動きをみせて〝女王湯木〟を破ったロックウッド《東京大会》

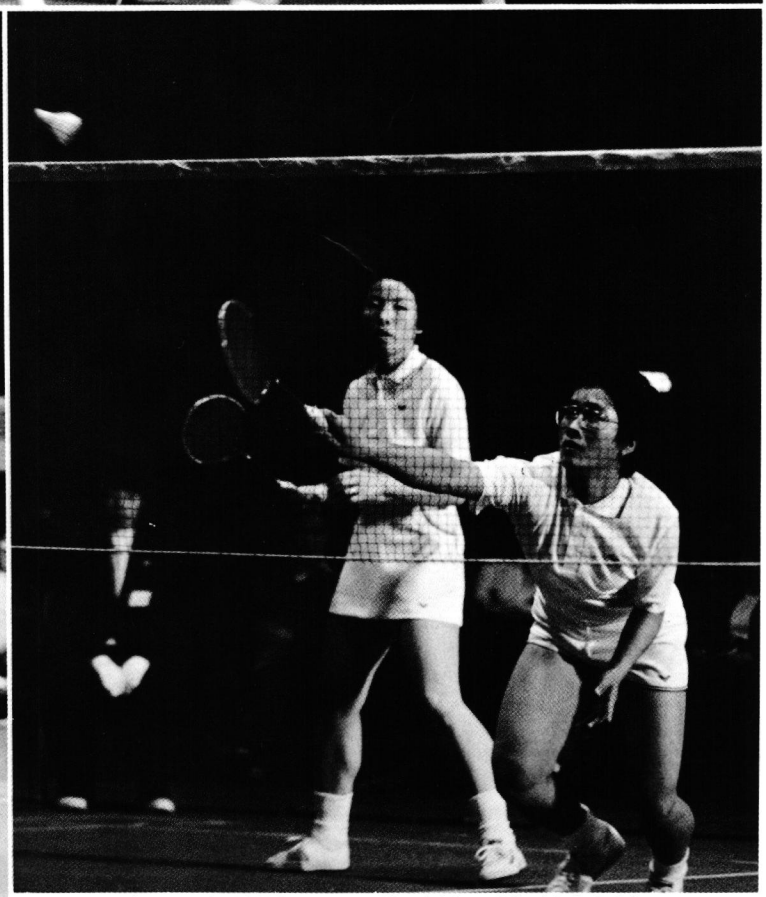


キビキビしたプレーで好感の持てるフローマン(右)・キールストロム《東京大会》



まだまだ余裕のあったデルフス・ガードナー《東京大会》

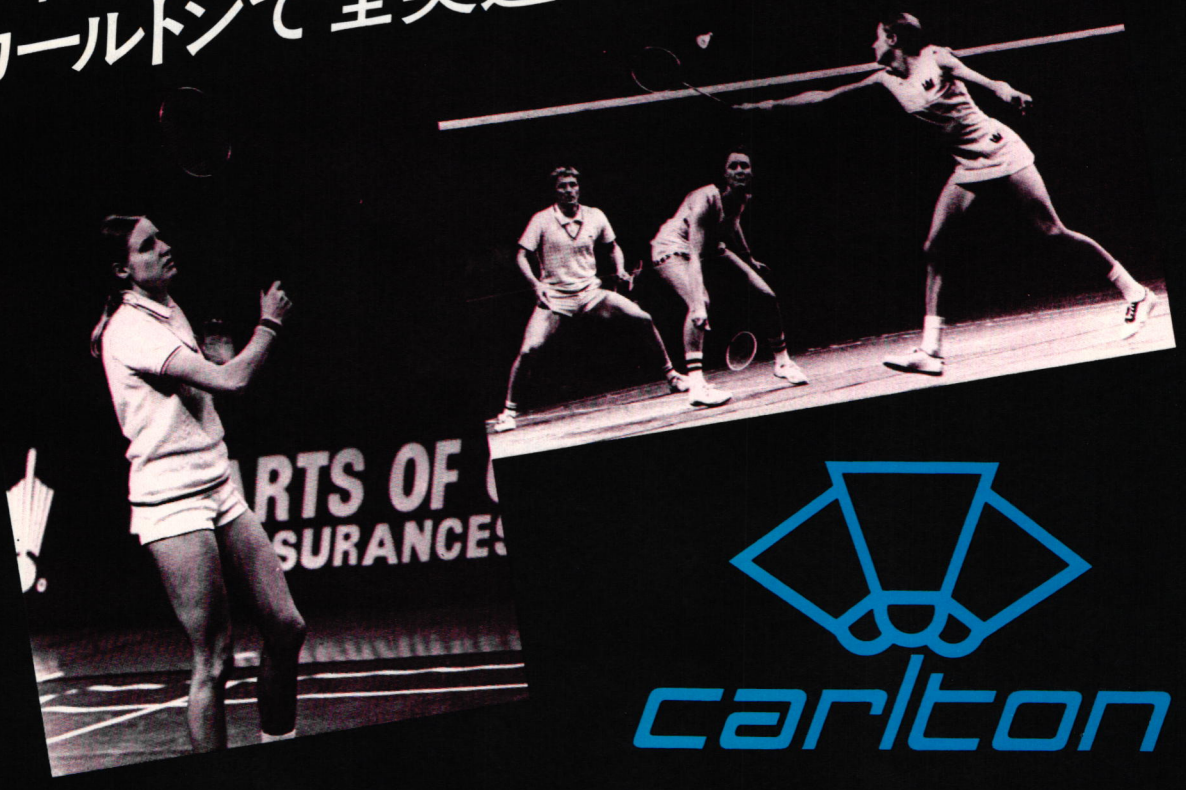




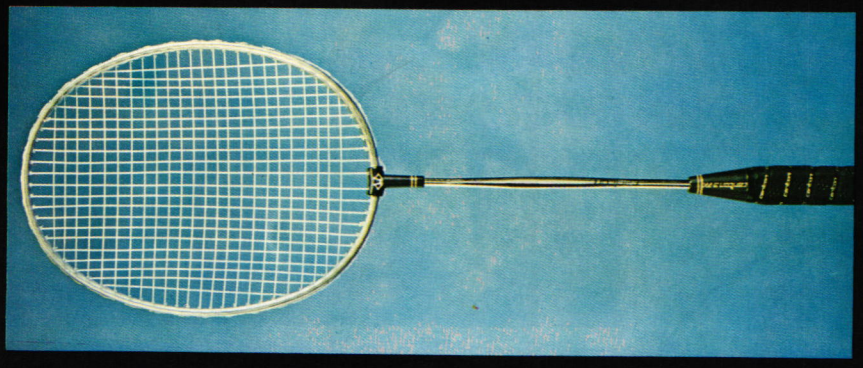
初コンビの試運転は上々。池田(左)・近藤《東京大会》

◀女王も人の子、負けるときもあります《東京大会》

ご存知、ギルクス夫人。
カールトンで全英選手権3種目制覇!!



carlton

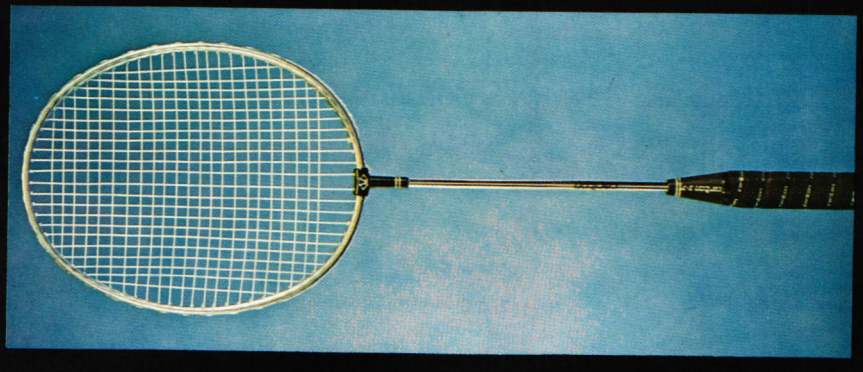


carlton 3.7X

¥9,500

(カバー付)

ステンレスフレーム フラット・シャフト使用



carlton 3.7

¥8,500

(カバー付)

ステンレスフレーム テーパー・シャフト使用

metro

総発売元 メトロレジャー株式会社

〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

from carlton England

1,000,000コ

カールトン・ナイロンシャトルの年間生産量です。

ニュートーナメント

1個
¥280

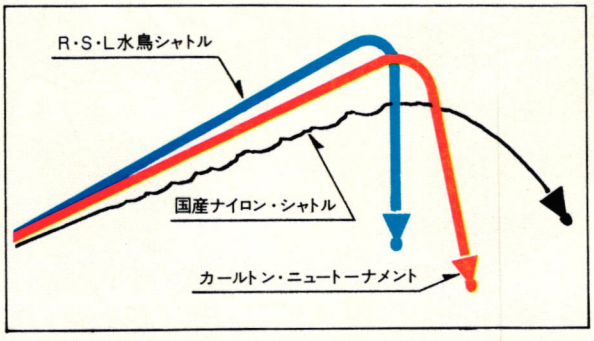




インターナショナル

1個
¥220

だから、こんなに安い価格で輸入品がお求めになれます。





ニュートーナメント：ターンオーバーがはやい。

左の図は、シャトルの飛行線を表わしたものです。カールトン・ニュートーナメントが水鳥シャトルの飛び方にいかに酷似しているか、おわかり頂けると思います。

しかも、国産品とは飛びが違います。

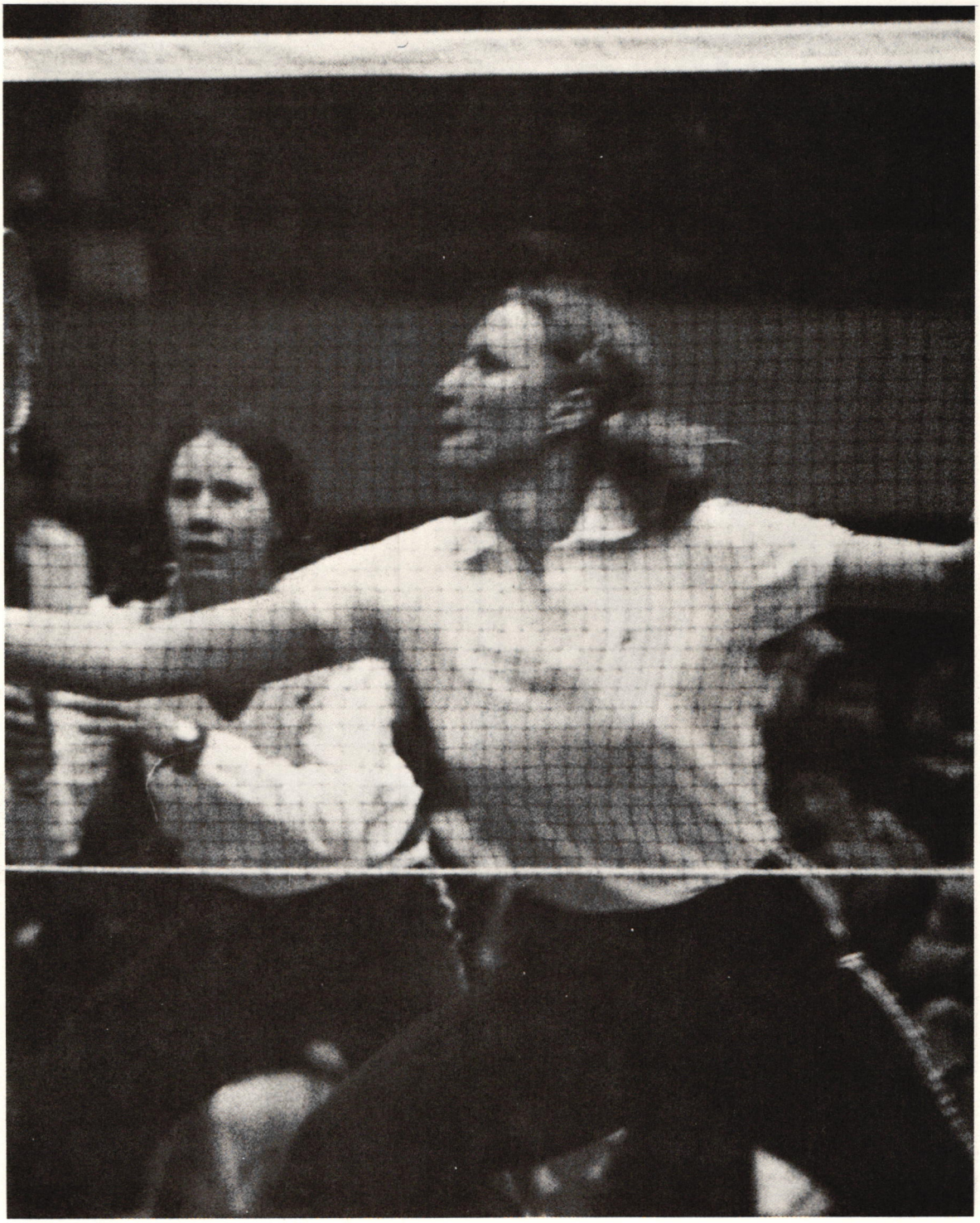
総発売元 メトロレジャー株式会社
〒101東京都千代田区外神田5－6－4 ☎(03)833－3661(代)

だから

シャトルコックならカールトン



“曲芸師プリ”“人気者プリ”



コスチュームにも気をつかったガードナー・ロックウッド


SUNBATTA
Rush
MADE BY SUNBATTA
SunBatta
BADMINTON RACKET
S-75
Rush
サンバタ

昭和51年度 神奈川県中学生 バドミントン大会

昭和五十一年度神奈川県中学生バドミントン大会が、平塚市見付台体育館にて、一月三十日、二月六日の二日にわたって行なわれた。

参加校、男子四十一校、女子六十二校。参加人数、男子三百四十五名、女子五百六十六名の大世帯は、県別中学生の大会では最大のものではないだろうか。

八月には、関東大会、全国大会も開催されると言う。この中からどんな選手が生まれてくるか大いに楽しみである。

◆成績

▽男子シングルス(ブロック別)

〈A〉一位・鈴木(戸塚中)
二位・田山(上菅田)

〈B〉一位・佐藤(戸塚中)
二位・野々垣(渡田中)

〈C〉一位・原(渡田中)
二位・吉永(戸塚中)

〈D〉一位・香川(金旭中)
二位・森(戸塚中)

〈E〉一位・三田美(向丘中)
二位・本田(港南中)

〈F〉一位・石渡(渡田中)
二位・宮内(菅生中)

〈G〉一位・鰐川(仲尾台)
二位・中村(鶴ヶ峯)

〈H〉一位・大内(渡田中)
二位・小谷野(鶴ヶ峰)

▽女子シングルス(ブロック別)

〈A〉一位・田上(戸塚中)
二位・清水(鶴ヶ峰)

〈B〉一位・熊沢(万騎原)
二位・土田(鶴ヶ峰)

〈C〉一位・三枝(上菅田)
二位・藤内(渡田中)

〈D〉一位・屋代(万騎原)
二位・土屋(宮崎中)

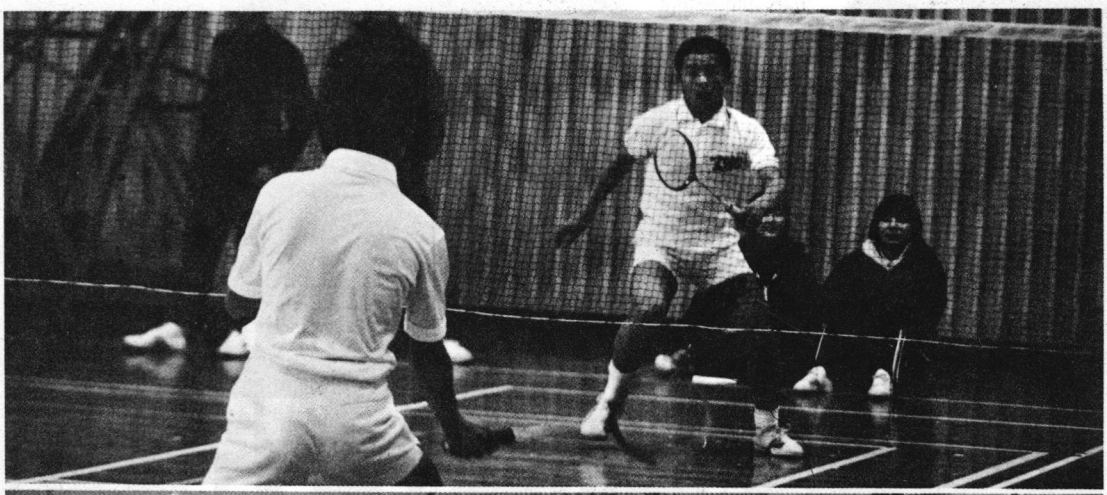
〈E〉一位・飯塚(鶴ヶ峯)
二位・折田(渡田中)

〈F〉一位・川津(仲尾台)
二位・渋井(南加瀬)

〈G〉一位・野村(戸塚中)
二位・庄司(鶴ヶ峰)

〈H〉一位・丸山(渡田中)
二位・黛(菅生中)

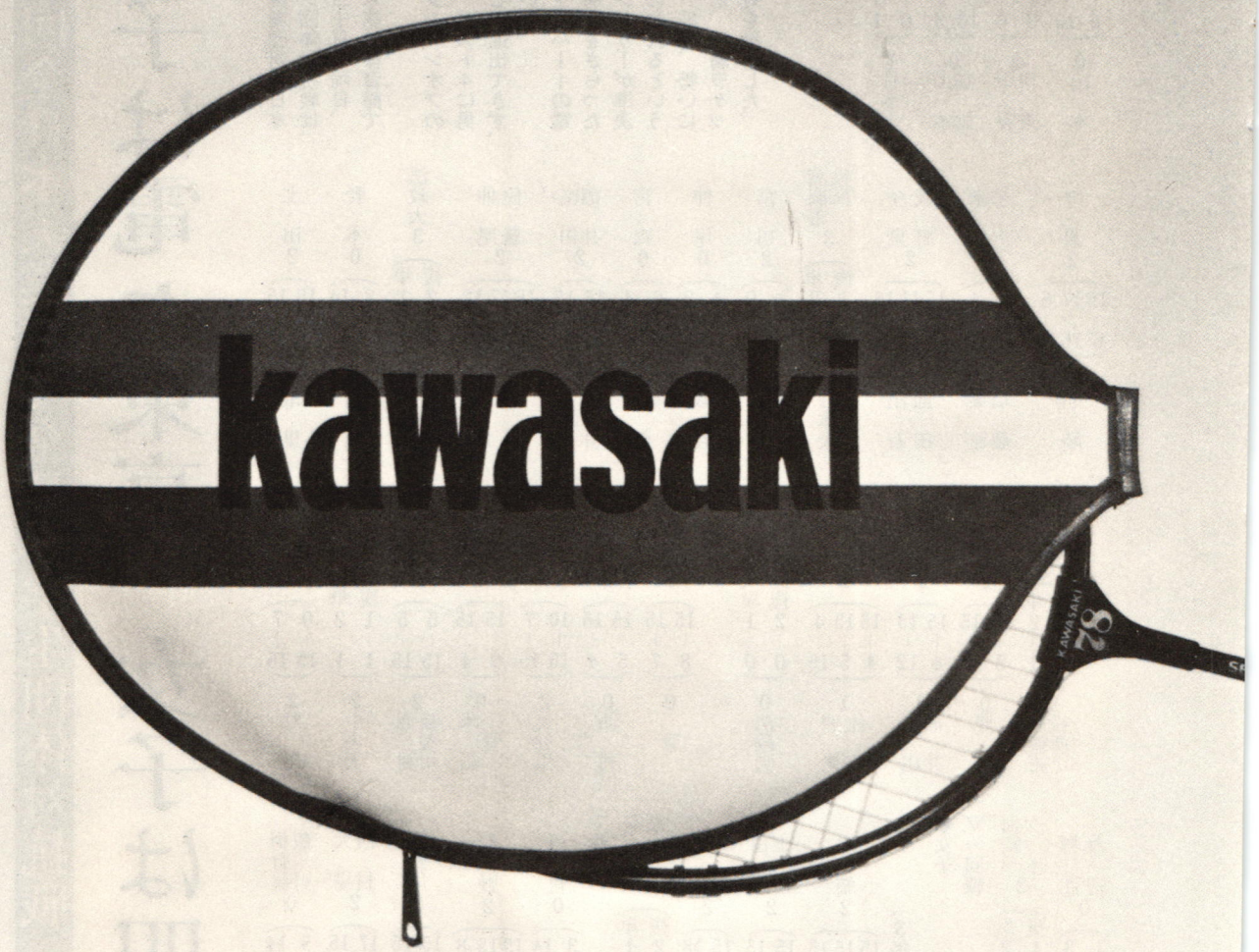
(ダブルスは不明)





カワサキラケット
河崎ラケット工業株式会社

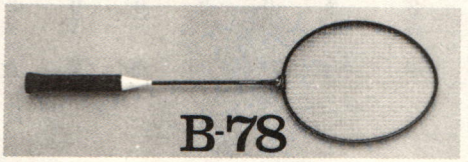
ドラマが始まる。



世界が燃える。

イギリス、デンマーク、インドネシア…
世界のコートで実力を発揮し、活躍するカワサキ。
数々の勝利のドラマを生み、
トッププレーヤに注目され続けています。

アルミ、クロームモリブデン、アルミ合金ダイカストを採用。
それぞれの特性を充分いかした軽く、弾力性豊かな新製品です。



No.B-78/セブンエイト/モスグリーン(アルミフレーム)
フレーム価格6,000円(ケース付)

第5回全日本実業団対全日本学生団体対抗戦

男子は電々東京、女子は四条畷短大

第五回全日本実業団対全日本学生バドミントン団体対抗戦は、一月二十九日、三十日の両日、国立競技場代々木第二体育館で開催された。

大学チームはシーズンオフのためか精彩なく、ベスト4に男女とも一チームしか進出できず、盛り上がりを欠いた。

男子は実業団ナンバー1の電々東京が順当に優勝をさらったが、女子は、サントリーが準決勝で四条畷短大に敗れるという番狂わせを演じ、結局、勢いに乗る四条畷短大が、河崎ラケットをも退けて栄冠を獲得した。

◆男子

▽一回戦

電々東京 4 (単2-1, 複2-0) 1 日本大学
- 池田 尾崎 2 (15-6, 15-10) 0 山本 高橋
- 田所 土田 2 (15-6, 15-3) 0 中谷 伊東
- 尾崎 2 (15-10, 15-6) 0 山本 高橋

高岡市役所 3 (単2-1, 複1-1) 2 日体大
- 今泉 牧野 2 (15-4, 11-15, 15-4) 1 出石 池田
- 米原 米沢 0 (10-15, 4-15) 2 栗原 須藤
- 今泉 2 (15-6, 17-16, 6-15) 1 岩崎

キケン 0 (9-14, 4-15) 2 仲尾 銭谷
- 富田 酒井 2 (15-12, 15-8) 0 堺 平井
- 宮森 0 (6-15, 4-15) 2 斎藤
- 仲尾 0 (4-15, 3-15) 2 銭谷

法政大学 3 (単1-2, 複2-0) 2 河崎ラケット
- 仲尾 佐藤 2 (15-8, 17-14, 12-15) 1 今井 銭谷
- 土田 2 (15-0, 15-0) 0 亀里
- 野本 0 (3-15, 14-17) 2 高橋

▽準決勝

電電東京 3 (単1-0, 複2-0) 0 法政大学
- 田所 土田 2 (15-4, 15-5, 4-15) 1 仲尾 佐藤
- 池田 尾崎 2 (15-4, 15-12) 0 富田 酒井
- ヨネックス 3 (単2-1, 複1-1) 2 高岡市役所
  - 土田 2 (15-5, 15-4) 0 仲尾
  - 牧野 0 (0-15, 7-15) 2 舛田
  - 大場 西村 0 (5-15, 5-15) 2 西村 長谷川

梅野尾 飯野 2 (15-5, 15-4) 0 西村
- 梅野尾 2 (15-8, 15-7) 0 管
- 飯野 2 (15-9, 15-4) 0 米山 管
- 西村 0 (10-15, 7-15) 2 長谷川

▽決勝

電々東京 3 (単1-0, 複2-0) 0 ヨネックス
- 池田 尾崎 2 (15-13, 18-17) 0 梅野尾 飯野
- 田所 土田 2 (15-11, 15-1) 0 大場 西村
- 梅野尾 飯野 0 (5-15, 14-17) 2 今泉 牧野
- 大場 西村 2 (17-16, 15-10) 0 米原 米沢

西村 0 (3-15, 14-17) 2 米沢
- 飯野 2 (15-1, 12-15, 8-15) 1 今泉
- 梅野尾 2 (15-8, 15-1) 0 牧野

◆女子

▽一回戦

河崎ラケット 3 (単2-1, 複1-1) 2 日女体大
- 堀江 渡辺 0 (1-15, 3-15) 2 千葉 松田
- 尾崎 2 (15-12, 15-18, 15-6) 1 梅野尾 (3年連続4回目)
- 田所 土田 2 (15-11, 15-1) 0 大場 西村

四条畷短大 4 (単3-0, 複1-1) 1 電電東京
- 落合 佐藤 0 (12-15, 6-15) 2 池田 今田
- 高田 植野 2 (15-3, 15-3) 0 清水 福原
- 陣内 2 (11-0, 11-0) 0 小松
- 梅野尾 2 (11-5, 11-0) 0 沢内

我妻 1 (5-11, 11-6, 3-11) 2 高岸
- 伊能 及川 0 (1-15, 5-15) 2 小松 谷
- 梅野尾 陣内 2 (15-3, 15-11) 0 沢内 高岸
- ヨネックス 3 (単2-1, 複1-1) 2 日女体大
  - 湯木 池田 2 (15-2, 15-10) 0 近藤 渡辺
  - 湯木 2 (11-2, 11-5) 0 近藤
  - 池田 2 (11-6, 11-8) 0 千葉

渡辺 0 (1-11, 2-11) 2 米倉
- 梅野尾 飯野 0 (5-15, 14-17) 2 今泉 牧野
- 大場 西村 2 (17-16, 15-10) 0 米原 米沢

高田 2 — 11 11 / 0 2 — 0 菅原

植野 2 — 11 11 / 4 6 — 0 池田

佐藤 2 — 11 11 / 3 2 — 0 今田

サントリー 4（単 3－0 / 複 1－1）1 日体大

秋本八 徳田 2 — 15 15 15 / 5 9 18 — 1 関根 大塚

谷 秋本幸 0 — 8 12 15 / 15 — 2 日山 石井

西尾 2 — 0 11 11 11 / 11 3 7 — 0 関根

徳田 2 — 11 11 / 0 4 — 0 石田

秋本八 2 — 11 11 / 3 2 — 0 大嶌

▽準決勝

四条畷短大 3（単 1－0 / 複 2－0）0 サントリー

落合 植野 2 — 15 15 / 3 8 — 0 秋本八 徳田

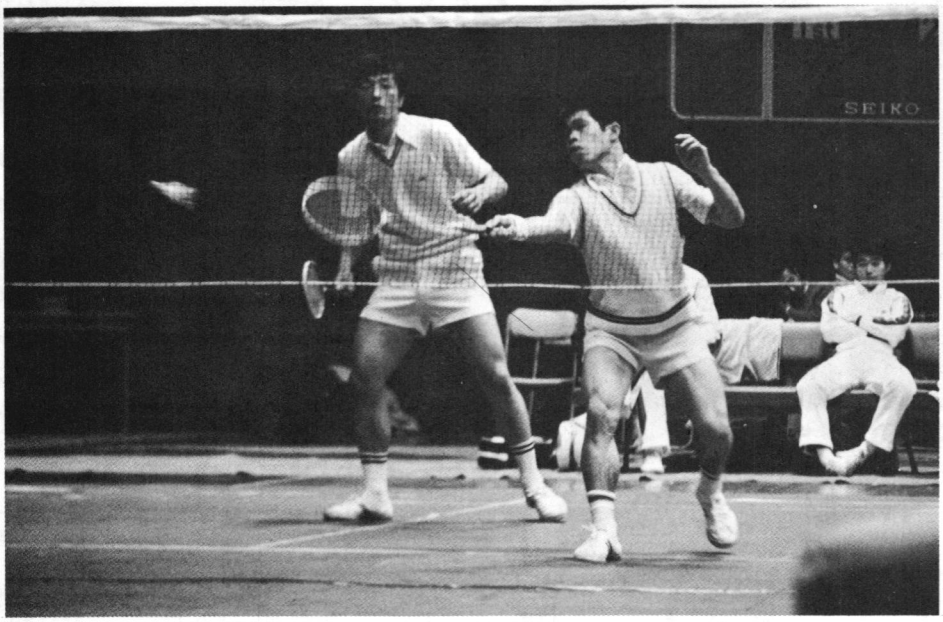
高田 佐藤 2 — 15 15 / 8 9 — 0 谷 秋本幸

植野 2 — 11 11 / 1 9 — 0 西尾

河崎ラケット 3（単 2－1 / 複 1－1）2 ヨネックス

湯木 池田 2 — 15 15 / 2 10 — 0 栂野尾 陣内

渡辺 堀江 0 — 4 0 / 15 15 — 2 今田 我妻



池田 2 — 11 11 / 6 7 — 0 陣内

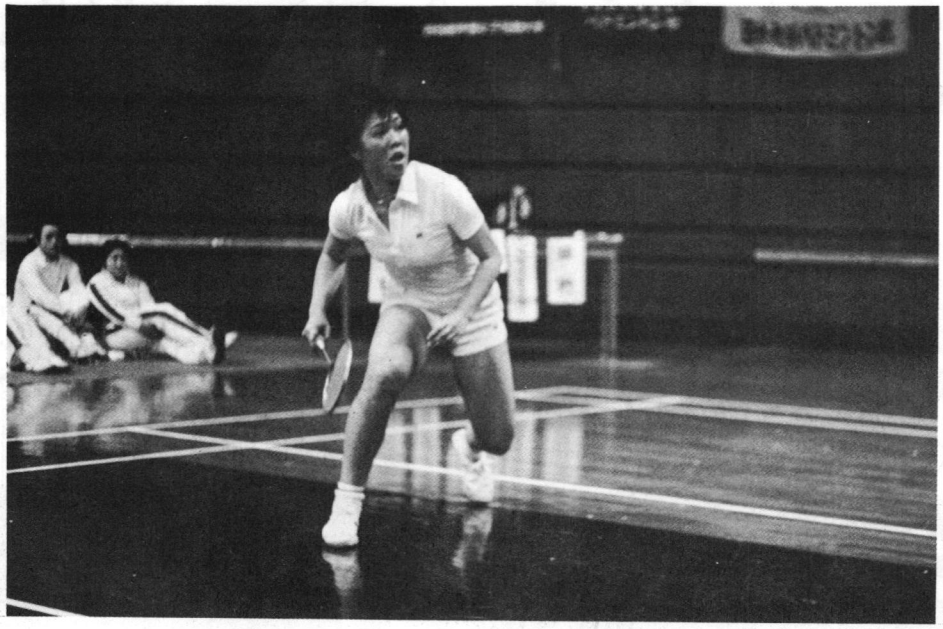
渡辺 0 — 2 0 / 11 11 — 2 栂野尾

▽決勝

湯木 2 — 11 11 / 0 0 — 0 及川

四条畷短大 3（単 2－0 / 複 1－0）1 河崎ラケット

優勝の原動力　上，池田・尾崎（電々東京）　下，植野（四条畷短大）



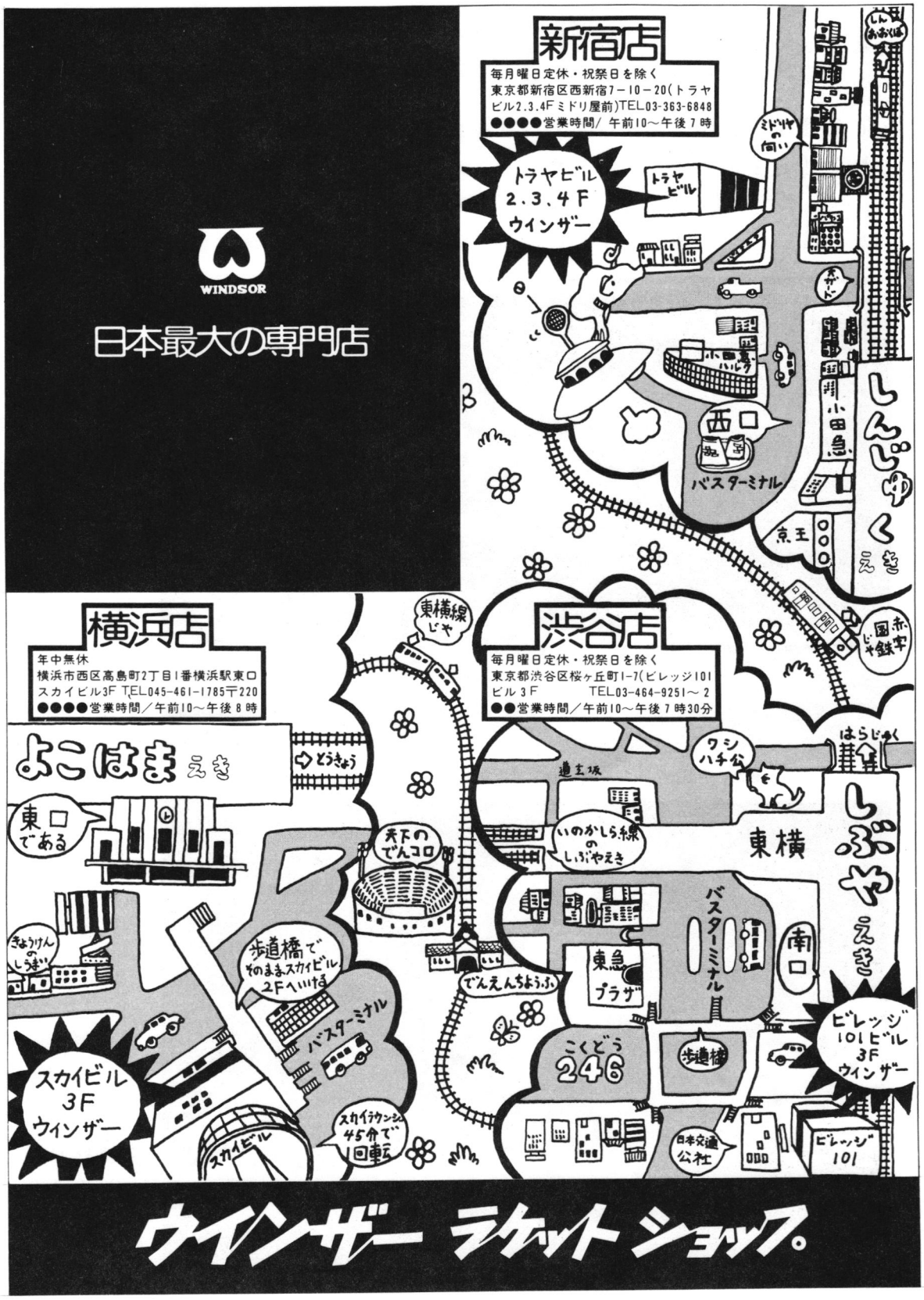
植落合 植野 2 — 15 15 / 1 2 — 0 松渡谷 辺

高田 佐藤 1 — 6 9 15 12 / 15 — 2 池田 湯木

植野 2 — 11 11 / 0 0 — 0 渡辺

高田 2 — 12 12 / 10 10 — 0 池田

（四条畷短大は初優勝）


WINDSOR
日本最大の専門店
新宿店
毎月曜日定休・祝祭日を除く
東京都新宿区西新宿7－10－20(トラヤビル2.3.4Fミドリ屋前)TEL.03-363-6848
●●●●営業時間/ 午前10～午後7時
トラヤビル 2、3、4F ウインザー
トラヤビル
ミドリヤの向い
しんじゅくえき
小田急
京王
西口
バスターミナル
渋谷店
毎月曜日定休・祝祭日を除く
東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ビレッジ101ビル3F TEL.03-464-9251～2
●●営業時間／午前10～午後7時30分
東横線
ハチ公
東横
しぶやえき
南口
東急プラザ
バスターミナル
歩道橋
こくどう246
ビレッジ101ビル3F ウインザー
ビレッジ101
日本交通公社
横浜店
年中無休
横浜市西区高島町2丁目1番横浜駅東口スカイビル3F TEL.045-461-1785〒220
●●●●営業時間／午前10～午後8時
よこはまえき
東口である
天下のでんコロ
歩道橋でそのままスカイビル2Fへいける
バスターミナル
スカイビル 3F ウインザー
スカイビル
スカイラウンジ45分で1回転
ウインザー ラケットショップ。

栄冠は電々東京 男子 ・サントリー 女子

昭和五十一年度全日本総合バドミントン選手権大会・団体戦は、二月十九日、二十日、国立代々木第二体育館に於いて開催された。

教員・高校と、大学・実業団の力の差は大きく、決勝は男女ともに大学対実業団の対戦となった。

男子決勝は、西村・長谷川組、米山・管組が予想以上に健闘して、実業団代表の電々東京を苦しめたが、ポイントをあげるまでには至らなかった。特に池田・尾崎と五分に打ち合った西村・長谷川の奮闘を讃えたい。

女子は、このところの不振を一気に追いはらうように、サントリーが気迫あるプレイを繰りひろげ、日女体大にストレート勝ちを収めた。

電電東京 4（複2－0 単2－1）**1 滋賀教員**

田所 光男	15－4	15－1	0	久保田良昌	
土田 証男	2			藤上 良英	
池田 信孝	15－8	15－9	0	藤原 健二	
尾崎 幹雄	2			藤上 良信	
土田 証雄	15－7	15－8	0	河嶋 四郎	
尾崎 幹雄	17－16	15－1	0	藤上 良信	
野本 綱夫	7－15	12－15	2	田中 英明	

（決勝）

電電東京 3（複2－0 単1－0）**0 中央大学**

池田 信孝	18－14	18－15	0	西村 正美	
尾崎 幹雄	2			長谷川博幸	
田所 光男	15－5	15－4	1	米山 孝二	
土田 証雄	14－17			管 敏明	
尾崎 幹雄	15－4	15－5	0	西村 正美	
土田 証雄	打ち切り			長谷川博幸	
池田 信孝	打ち切り			管 敏明	

☆男子

中央大学 5（複2－0 単3－0）**0 金沢市立工業高**

西村 正美	15－12	15－12	0	坂本 昌嗣	
長谷川博幸	2			石崎 一幸	
米山 孝二	15－4	15－2	0	藤橋 和俊	
管 敏明	2			羽田 俊哉	
西村 正美	15－4	15－4	0	坂木 昌嗣	
長谷川博幸	2				
長谷川博幸	15－2	15－0	0	清水 弘幸	
管 敏明	2				
管 敏明	15－5	15－3	0	藤橋 和俊	
	2				

☆女子

日本女子体育大学 5（複2－0 単3－0）**0 新潟育陵高**

近藤 小織	15－1	15－1	0	高野 和代	
渡辺多喜子	2			斎藤 桂子	
石田ひとみ	15－5	15－6	0	藤井 良子	
米倉よし子	2			青木 恵子	
渡辺多喜子	11－5	11－1	0	高野 和代	
米倉よし子	11－5	11－3	0	藤井 良子	
近藤 小織	11－4	11－7	0	斎藤 桂子	
	2				

（決勝）

サントリー 3（複2－0 単1－0）**0 日本女子体育大学**

徳田 敦子	15－12	15－11	0	近藤 小織	
秋本八代美	2			渡辺多喜子	
谷 美津代	15－6	15－13	0	石田ひとみ	
秋本 幸子	2			米倉よし子	
徳田 敦子	9－11	11－3	1	近藤 小織	
	11－4				
西尾真理子	打ち切り			米倉よし子	
秋本八代美	打ち切り			渡辺多喜子	

大阪からのたより

第六回国際バドミントン大阪大会を終えて

〈裏方さんからのニュース〉

中国、デンマーク、韓国と何回か外国選手を迎えて競技会をもち、何とか国際試合の開催にはなれてきたつもりで、大阪大会の準備にかかった。

次にのべることは試合を観にきては分らない、舞台裏というか、縁の下の力持ちと言ってよいのか、大会裏話しもまた結構試合と共に興味もあり、苦労を知ってもらえるのではないかと思って書いてみます。

今回は、来日のヨーロッパ選抜選手特にデンマークの四人についてはハードスケジュールであったようだ。十日（山梨大会の前日）に東京羽田へ飛行機が遅れて着いた為、山梨まで自動車でかけつけ、やっとレセプションに間に合うという事態からスタート。明くる十一日からは三日間毎日の試合が待ち構えている。（日欧両方の都合でどうしても調整できなかった由）。十一日の試合終了後は再び甲府から東京へ出て、新幹線で新大阪へ着いたのが二三時半近く。雪害の為どれ位遅れるかと気が気でなく、新大阪のホームで青木理事長以下選手の到着を待つ。

ホテルへ着くと、外人選手は大きいから少しでもゆったりとやすんでもらおうと思ってダブルベッドを用意しておくと、二人合部屋だと思って、同国人同志がさっさと部屋に入る。部屋へは飲みものと軽食が用意してある筈が、手違いから別のところへまとめてあって、これ又手分けして各部屋へ配ってまわる。日本選手は五階に配宿されていたが、外国選手は四、五、六階と分散である。その他色々な手違いを、東京から同行の宮永氏（日本バドミントン協会国際委員）は巧みに話をされて、やっと眠れそうだと一息ついたのは午前一時すぎ、明くれば十二日、外国選手は朝食の時間などはまちまちである。就寝が遅かったにもかかわらず早く食堂に就いていたイギリス女子二人……。それでも正午のホテル出発には八人の選手はきちんと揃い、荷物を確認して試合会場の中央体育館へ出発する。最初は試合が終ったらホテルに引き返して、新大阪から東京へ向う予定であったのだが、夕食の都合から、急きょホテルを引き払うことに変更する。外国選手も変更が急だったせいか、あわてたのだろう部屋のキーを体育館まで持ってきたのが三人（揃って四階に泊っていた選手）いて、試合の途中（四時前ごろだった）で連絡をうけて、あわててホテルへ電話を入れる一幕もあった。

さて開会式の時間がきて、ヨーロッパの男子選手が四人共控室にいないと連絡があった。あわてて全日本の選手の人達にも手分けしてさがすが全く分らない。どこかへ腹ごしらえに出向いたか、近くの大阪城でもみに行っているのではないかと話をしたりして、兎にも角にも一刻も早く戻って来てほしいと念じるのみ。式典係にはできる範囲で開会式を遅らすよう連絡する。そのうちに二人だけ戻ってきたので、やむを得ず開会式を始めようと決心した時、残りの二人も戻りほっと胸をなでおろし、約二十分遅れの開会式となる。（全く恥ずかしい限りである）

そう言った表に出ない出来事はあってもさすがに試合内容は、観衆に目をみはらせたり、又楽しませる場面もいくつかつくるというサービス振りを発揮し、バドミントンの見どころをちゃんと初めてみる人々にも植えつけたようである。

試合終了後の記念写真撮影でもプリ選手などはコートマットの上に腰をおろし、足を伸ばしてくつろいだ格好でうつるなど、ヨーロッパ人の気持が現われていると思った。

中央体育館を後にして、夕食を共にした場所では結構楽しみ、はしゃいだりふざけたりして、久し振りの落ちついた食事に満足したとの事である。筆者はその頃新大阪駅で急に予定を変更した為、東京へ向う選手（十三人）の荷物を若い理事の人達四人とで、重いのを頑張って車から降ろした三十個近い数を交代で運んでいたのである。選手達に改札口で各自の荷物を確認して二十三時十八分ひかり号がホームを離れ始めた時、プリ選手がトランプゲームを中止して、親指を立てグッドの合図を示したのをみて、道中の無事を願うと共に、何とか無事に役目を果したと心の中に安らぎの気持ちが拡がり始めた。筆者の役目はこれで終ったが、宮永氏は今夜、明日、明後日と、東京大会を中心に大変だなあと思った。二十時三十分、昨日からの疲れを洗い落そうと、入浴中もう一時間程で選手達は東京に着くのだと思っていると、突然東京からの電話が入ったと家内からの連絡、東京都の理事長から選手達の離阪の問い合せの電話である。無事揃って離阪した事を告げると共に、東京はこれからが忙がしくなるのだなあと思い、大きく息を吸ってはき出した。

（大阪バドミントン協会常務理事・大阪大会選手係）
宮脇　正晴

バドミントンのこくさいじあい

わたしは学校から帰ると、すぐごはんを食べて、きものをきせてもらいました。わたしは車にのって中央体育館へ行きました。がいじんせんしゅのひかえ室に入り、おびをむすんでもらいました。がいじんのおねえちゃんは、ジャパニーズダンスといって、にこにこわらってしゃしんもとってくれました。

バトンガールをせんとうに、かいかいしきがはじまりました。おねえちゃんとじゃんけんをしてまけたので、おねえちゃんは、がいじんのプリというせんしゅに花たばをあげました。わたしは日本のこじまいっぺいさんに花たばをあげました。

バドミントンはわかりませんが、がいじんせんしゅのうちかたは、とてもたのしくユーモアでした。とくに足と足のあいだからたまをかえしたのが、とてもわたしはたのしかったです。

大阪市立桑津小学校二年　宮脇　久味

国際バドミントン大会 大阪大会を観戦して

この前大阪の市立中央体育館で行なわれた全日本対ヨーロッパ選抜の試合を見に行きました。初めての国際試合の見物で、少少緊張しながら体育館に入るとまず中のすごい熱気におどろきました。

試合を見て一番感じたことは、選手のみんなが、ものすごく体力があるということだ。ものすごくラリーの続く試合をフルに戦かっても平気な顔をしている。ぼくたちには、おそらく想像もつかない体力だろう。もう一つ、バックハンドがすばらしくうまい。少し手首をかえしただけで相手のバックラインまでとどく。やはり国際試合に出るような選手と普通の選手とのちがいは、体力とバックハンドにあるとぼくは思います。

大阪市立文ノ里中学校
バドミントン部　西村　彰治

ヨーロッパ選手についてて

三日間体育館やテレビなどで試合を見て、ヨーロッパ選手について感心したことは、第一に手首が強い。その為スマッシュに角度があり、腕の力と合わさって強烈なスマッシュを打つことができる。それと、どんなフォームでも、シャトルを打つことができると言うこと。たとえば、バックなどでは、日本の選手ならハイクリアで返すシャトルも手首と腕の力で、フォアハンドに劣らないスピードのスマッシュを相手コートの隅に落とす。あとは点の取り方、ダブルスで4、5点負けていても、一度きっかけをつかむと、ぽんぽんと点を取って逆転してしまう。大量に得点を取るのがうまい。

大阪市立文ノ里中学校
バドミントン部　佐々木　健



みんなそろって「記念撮影」

◆揃えて保存すればバドミントンの百科事典になる◆ バドミントン界バックナンバー販売一覧表

「バドミントン界」も間もなく創刊100号を迎えようとしています。非力な編集スタッフのため、途中何回か暗礁に乗り上げそうになりましたが、読者の皆様の励ましとご援助のおかげをもちまして、ようやく軌道に乗ってまいりました。

今年は、別冊・臨時増刊号などの刊行を予定していますが、現在、在庫のありますバックナンバーは下記のとおりです。

●**28号**＝130円 ▶ホープ順調に成長▶女子学生界を展望する▶小島海外で活躍▶ワイド判〝読者の広場〟

●**29号**＝130円 ▶全日本総合選手権特集▶高木が女王にカムバック▶近づくユ杯▶代表選手を診断すれば

●**34号**＝130円 ▶ユ杯の三連勝なる▶栄光と熱戦のあと▶神様に昇格した中山主将▶栄冠涙あり

●**37号**＝130円 ▶ト杯アジア東地区決勝▶ミュンヘン五輪報告▶全国中学生大会▶100万人の上達法

●**39号**＝130円 ▶鹿児島国体▶全日本学生選手権▶大衆スポーツ活動の基盤と現状▶バド72年10大ニュース

●**40号**＝130円 ▶72年度全日本総合選手権▶小島〝復活〟▶女子ホープは目白押し▶アマチュアリズムとは

●**41号**＝130円 ▶第2回国際女子競技会▶欧州の女王▶たくましく変身した欧州勢

●**48号**＝130円 ▶第1回日中競技大会▶抜群のスピードとテクニック▶中国強し▶中国10戦全勝を飾る

●**49号**＝130円 ▶73年度全日本総合選手権▶小島輝くＶ7▶湯木も王座ガッチリ▶第28回国民体育大会

●**51号**＝130円 ▶第3回国際競技大会▶女子の活躍で日本選抜辛勝▶小島一平の実戦教室

●**52号**＝220円 ▶全英選手権大会▶湯木2度目の女王の座へ▶相沢・竹中3連勝ならず▶小島一平の実戦教室▶中山紀子・私の歩んできた道

●**53号**＝220円 ▶全英選手権を終えて（湯木博恵・栂野尾昌一）▶スナップ写真集▶小島一平の実戦教室▶中山紀子・私の歩んできた道

●**54号**＝220円 ▶ピンナップ特集▶外国からの挑戦者たち

●**55号**＝220円 ▶第5回全日本女子チャンピオンズトーナメント▶小島一平の実戦教室▶中山紀子・私の歩んできた道

●**56号**＝220円 ▶カナダ選手権で池田・栂野尾優勝▶母と子の大会▶小島一平の実戦教室

●**58号**＝220円 ▶中国・インドネシアついに対決▶デンマークオープン写真集▶小島一平の実戦教室▶中山紀子・私の歩んできた道

●**64号**＝220円 ▶第4回国際競技大会▶湯木ギルクスに快勝▶英国強し▶第6回全日本女子チャンピオンズトーナメント

●**65号**＝220円 ▶小笠原母島のバドミントン▶デンマークオープン▶全日本総合団体戦

●**68号**＝220円 ▶無念！ユ杯Ｖ4ならず▶湯木・中山の健闘むなし▶バドミントンに賭けた青春＝湯木博恵

●**69号**＝220円 ▶ユ杯詳報▶湯木、中山マイペース▶相沢・竹中不調▶日本必死の防戦も及ばず

●**70号**＝220円 ▶インターハイ▶植野女子三冠に輝く▶男子は林田が制す▶東日本学生選手権

●**71号**＝220円 ▶トマス杯東地区予選日本対香港▶日本完勝▶土田初出場で重責を立派に果たす

●**72号**＝220円 ▶全日本社会人選手権▶小島・湯木が優勝▶全国の指導者に望むこと

●**73号**＝220円 ▶第4回日中競技会▶ヤングパワー林詩銓▶はつらつ劉霞▶中国ランキング

●**74号**＝220円 ▶75年全日本総合選手権▶小島不滅の金字塔▶湯木キズだらけの四連勝▶徳田白熱の善戦

●**75号**＝220円 ▶第30回国民体育大会▶神奈川が2年ぶり10度目の栄冠▶全日本学生選手権

●**76号**＝220円 ▶トマス杯アジア東地区決勝日本対韓国▶日本9－0で完勝▶第5回国際競技大会

●**77号**＝220円 ▶全日本総合選手権団体戦▶第7回全日本女子チャンピオンズトーナメント▶ジャカルタの新聞とユーバー杯

●**78号**＝300円 ▶全英選手権大会▶ハルトノ8回目の栄冠▶ギルクスは三冠王▶第1回アジア招待大会▶スミラト中国勢を連破して優勝

●**79号**＝300円 ▶トマス杯アジア地区決勝日本対マレーシア▶王国のバドミントンとスポーツ界▶夜明けの時代をふり返って

●**81号**＝300円 ▶学生大会集

●**82号**＝300円▶インターハイ▶金沢市工、四条畷が連勝▶男子宍戸、女子石川が栄冠▶全国中学生大会▶全日本教職員選手権▶京都家庭婦人大会▶長崎家庭婦人大会

●**83号**＝300円 ▶76年オールスター男子ダブルス▶全日本社会人選手権▶シャトルコックの研究

●**84号**＝300円 ▶石川県家庭婦人大会▶全日本社会人選手権上位戦記録▶良好書紹介

●**85号**＝300円 ▶全日本学生選手権▶第31回国民体育大会▶第3回全日本家庭婦人大会▶渋谷バードクラブ紹介

●**86号**＝300円 ▶76年総決算号

●**87号**＝300円 ▶日本協会の使命と今後の課題▶第5回日中大会報告▶大阪中央ＹＭＣＡクラブ紹介

●**88号**＝300円 ▶76年全日本総合選手権写真集▶しらぎくクラブ紹介

●**89号**＝300円 ▶76年全日本総合選手権全記録▶直撃インタビュー小島一平選手は語る▶サントリーチームを訪ねて▶シャトルコックの製造工程

◆別冊①◆ユーバー杯奪還への道＝1,000円
Ａ5判128ページ、カラー16ページ、第7回ユーバー杯大会（ジャカルタ）全記録をはじめ観戦記・奪還等を満載。

◆専用合本バインダー＝500円
濃紺クロス張り、金文字押し、ノリや穴あけ不要で1年分12冊を簡単に綴じることができます。

バックナンバー、別冊、合本バインダーのお申し込みは、他の用件とは別にして、ハガキで下記あてお申し込み下さい。

〒150　東京都渋谷区神南1－1－1
岸記念体育会館内・バドミントン界編集部
（なお、発送は集中方式となりますので、1～2週間程度かかります）

協会から

★日本バドミントン協会では、創立三十周年を記念して、ネクタイピンとバッジを作成いたしました。大会会場等でご希望の方に頒布しておりますが、バドミントン界愛読者の皆様にも、ご希望の方にはお分けすることとなりました。

それぞれの価格・仕様は次のとおりです。

◇ネクタイピン＝銀色のシャトルに金色でNBAの文字を配したもの。800円

◇普及型バッジ＝銀色のシャトルに金色でNBAの文字を配したもの。プラスチックケース入り。ネジ式。500円

◇日の丸つきバッジ＝右のバッジに日の丸を配したもの。プラスチックケース入り。ピン式。800円

◇デラックスバッジ＝デザインは普及型と同じですが、純銀製で、NBAの文字の部分は24K張りの上品なもの。桐箱入り。2000円。

ご希望の方は、ハガキで左記あてお申し込み下さい。折り返し振込用紙同封の上お送りいたしますが、送料は実費をご負担いただきます。

申込先＝〒150東京都渋谷区神南1ノ1ノ1・岸記念体育会館内・日本バドミントン協会出版局・TB係

整理の都合上、他の用件とは別にお申し込み下さい。

★イギリス本国で1月12日にラケットスポーツの切手四種セットが発行されました。このセットの中の最高額13ペンスに、バドミントンが描かれています。

8½ペンスはローン・テニスで、これはウィンブルドン選手権一〇〇年にちなんで発行されたもの。

10ペンスはテーブル・テニス（卓球）で、これは世界卓球選手権大会にちなんだもの。

11ペンスはスカッシュ。

13ペンスがバドミントンです。いずれもボール（シャトル）の軌跡を現わす線が描かれています。この切手はA・レストール氏の原図、ハリソン父子社によるグラビア印刷の美しいものです。

11ペンスに描かれたスカッシュはまだ日本ではあまりなじみがありませんが、前後左右の壁を利用して二人、あるいは四人で争うゲーム。ラケットはテニスと同じ長さで、フレーム面はバドミントンの三分の二くらいのもの、ボールはゴルフボール程度の大きさでスポンジの硬いものです。非常に機敏性を要求されるスポーツで、ヨーロッパ各地やインド、パキスタン、アメリカ、オーストラリアでは非常に盛んに行われています。日本でも、ようやく会員制のアスレチック・クラブにコートが見られるようになってきました。映画「ある愛の詩」「エマニエル夫人」などにも出てきました。

今回、編集部では、英国海外郵趣代理部のご協力により、このセットのうち13ペンス＝バドミントンの切手を愛読者の皆様にプレゼントいたします。

ご希望の方は、封書で返送用切手50円を同封の上、封筒に「切手希望」と明記して、左記あてお送り下さい。

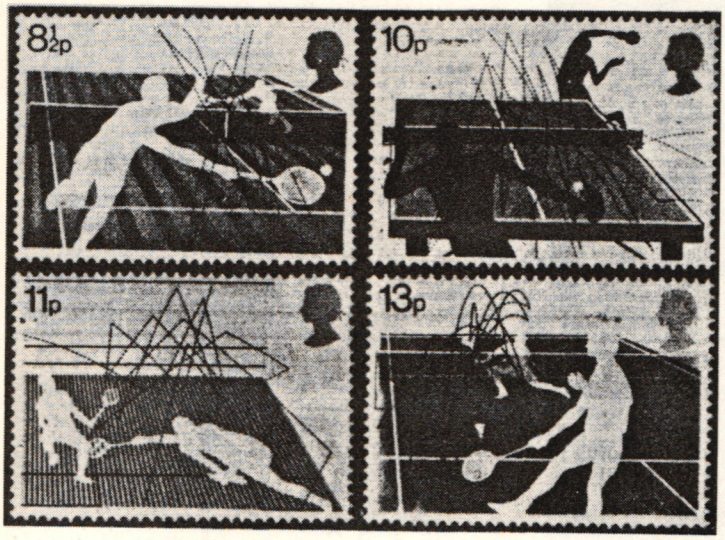
〒150東京都渋谷区神南1ノ1ノ1 岸記念体育会館内・バドミントン界編集部

なお事務の都合上、他の用件とは別にして下さい。また切手は多数用意いたしましたが、お一人三枚までに制限させていただきます。

★「バドミントン界」はわが国で唯一のバドミントン専門月刊誌です。競技者の人々はもちろん、指導者の皆さん、そして最近急速に愛好者がふえ、各地で活発な活動をくり広げているママさんの皆さんに読まれています。

本誌一部300円ですが、一年間予約購読をお申し込みになりますと、3600円のところを3000円に割引となり、日本バドミントン協会登録会員はさらに2800円に割引となります。そして、毎月発行と同時にお送りいたします。ぜひ、この便利な年間予約購読システムをご利用下さい。

手続きはかんたんです。本誌とじ込みの振替用紙に、必要事項をご記入の上、お近くの郵便局から代金をお払込み下さい。手数料はかかりません。このとき、住所・氏名・郵便番号と、何月号からのお申込みかをはっきりと明記して下さい。とくにアパート、マンション、寮などにお住いの方は、できるだけ詳しくご記入下さい。



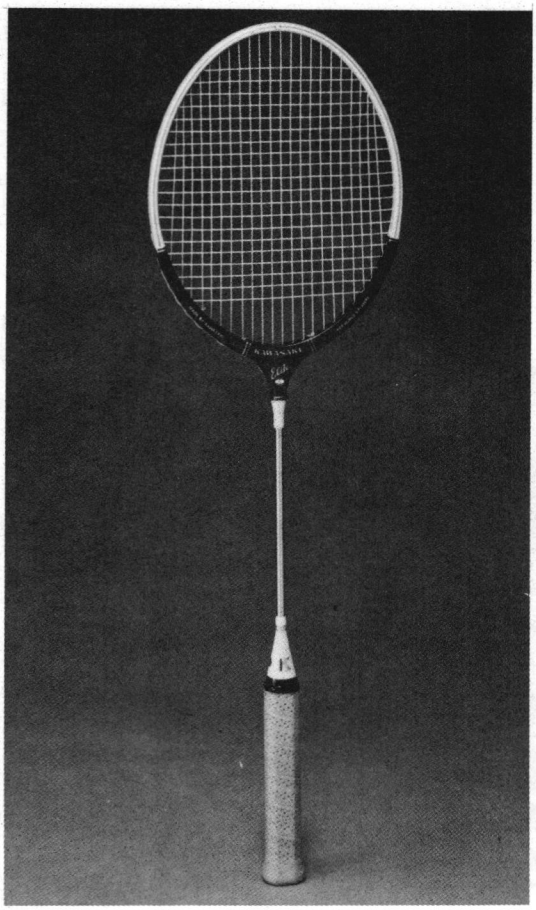
New Products Information

有名スポーツ店で販売しております◆

●カワサキラケット

〈カワサキ“B”シリーズ〉

日本が誇る新幹線ラケット



B－75　エリート

●スピーディなB－75（エリート）・B－73（オールマン）・B－69（ブルーリース）

世界のバドミントンは年々スピード化しています。そのためラケットも一層軽量化を要求されてきています。スピード、シャープ、この条件を満たすラケットを使い、優れたスピリットを持ったプレーヤーが世界のチャンピオンの座を獲得できるのです。

カワサキはスピードに対応しうるラケットの開発を続けてきました。この努力が実り、イチヨー部が小さくて軽く、そして強度を十分に保つことのできるラケットを開発しました。それがここでご紹介するB－75、B－73、B－69です。

◎No.B－75　エリート
¥5、500
（フレームケース付）

素材は最高級ウッド。フレームにモスグリーンメタリック塗装を施して上品なスポーツ・バドミントンにふさわしい気品を与えています。もちろんイチヨー部は小さく、空気抵抗を最小限にしたものでスピードは豊か、そして反発力は素晴しいものがあります。

タイプとしてはオールラウンド。特に初心者・女性にとっては理想的なラケットで、そのソフトな弾力性とスウィンシャフトから生み出されるシャープさは抜群のフィーリングとあいまって、プレーヤーの間では高く評価されているラケットです。

◎B－73　オールマン
¥5、000
（フレーム・ケース付）

精選されたウッドを河崎が誇る合板技術で五枚積層したB－73はカワサキ独自の加工技術で開発されたラケットです。

シャフトは7.5～6.5㎜のクロー

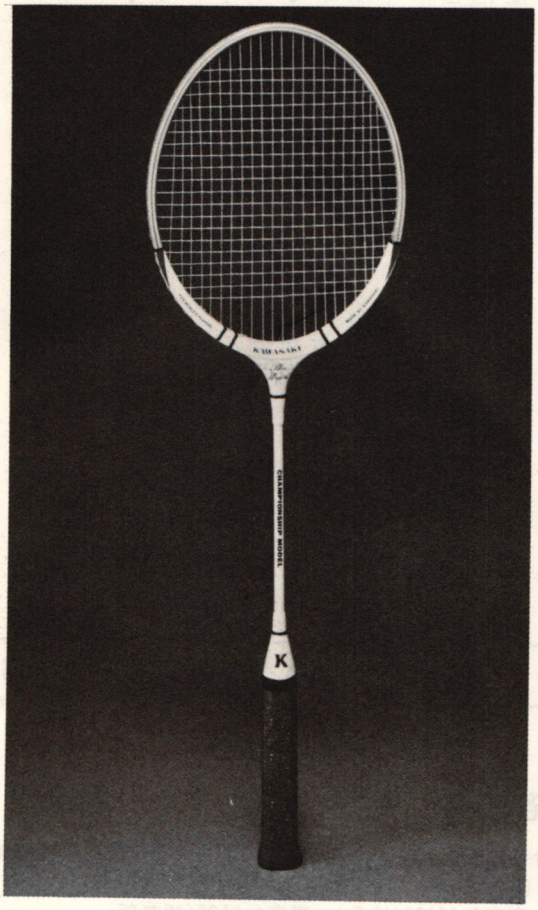
新製品紹介コーナー

◆このコーナーで紹介した製品は全国

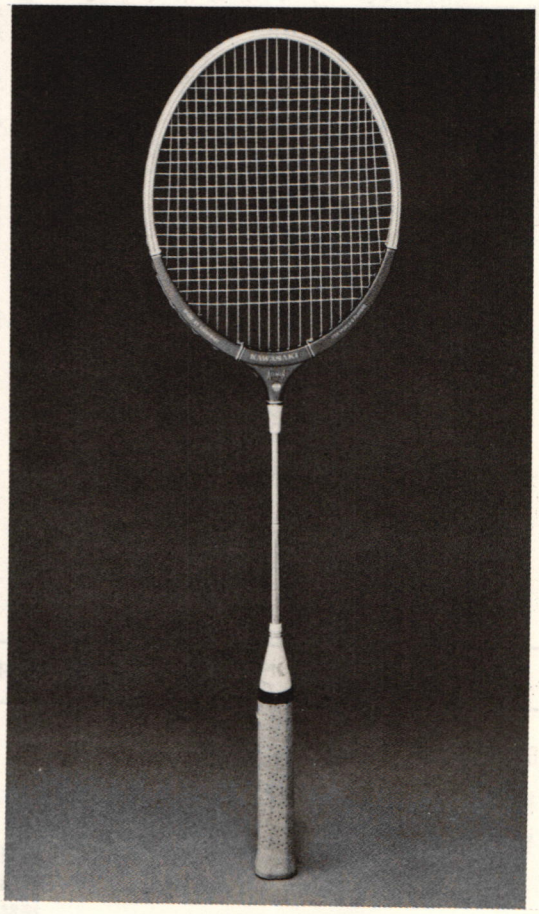
ムモリブデンテーパーシャフト。このロングで強靱なクロームモリブデンが合板精度と実に美事に調和しているのが特徴です。イチヨー部が小さく、スピード感は抜群。そして反発力の確かさはハードヒッターを酔わせるほどの魅力を秘めています。もちろん空気抵抗は最小にしています。B－73〈オールマン〉はタイプからみるとハードヒッターラケット。世界のスピーディなバドミントンをリードするラケットといえましょう。

◎B－69 ブルーリース
¥4、500
（フレーム・ケース付）

初心者、女性プレーヤー向けのラケットで世界の名作といわれているのがB－69ブルーリースです。日本のプレーヤーがユーバー杯、トマス杯で世界のバドミントン界を席巻した際に使われたラケットです。イチヨー部は小さく、柔軟性と空気抵抗を特に小さくするよう配慮された中庸タイプで、カラーも半白、白、サックス、赤と大変豊富。7.5～6.5㎜クロームモリブデンテーパーシャフトながら、その柔かさは完全にプレーヤーのフィーリングにフィットすると評価されています。



B－69　ブルーリース



B－73　オールマン

昭和五十二年度 日本バドミントン協会 新役員

会長 本田弘敏

副会長 広田兼敏
〃 森友徳兵衛
〃 松下正寿
〃 柴田勝治
〃 根津哲夫

副会長兼理事長 小口政雄

副理事長 浅岡武（京浜）
〃 小飼栄一（北海道）
〃 高倉正治

常務理事 青木昭二
〃 池田昌道
〃 板垣隆房
〃 伊藤鉱一
〃 伊藤基記
〃 井上忠久
〃 組村明
〃 里見光徳（教連）
〃 並木万次郎（実連）
〃 秦浩
〃 福田武
〃 宮永武司

理事 相場清一（東北）
〃 安倍淳美（中国）
〃 穐山正雄（四国）
〃 伊豆晃（東海）
〃 内多小五郎
〃 神沢暁
〃 北義一
〃 坂根清貴（学連）
〃 遠井稔男
〃 内藤安雄
〃 中島寿禧（北信越）
〃 中田正彦
〃 中山広明
〃 布引修二
〃 野村嘉明（近畿）
〃 花岡牧夫
〃 保坂俊一（関東）
〃 三須徳次
〃 毛利清志
〃 和田寿（九州）

監事 上原正士
〃 加藤三夫
（順不同）

編集室から

◆今月号より表紙のデザインが変りました。編集部一同も新しい表紙に負けぬよう〝気分一新〟して頑張ります。どうぞよろしく。

◆国際大会の特集、いかがですか。観戦された方は、あの愛敬あるプリの表情や、真剣にプレイしてくれたキールストロム・フローマン組の姿が甦ってくることでしょう。観戦できなかった方も、数々の写真の中から想像を廻らしてください。掲載できなかった写真もまだ沢山ありますので、機会あるごとに本誌や、増刊号に登場するでしょう。

◆香港で開かれたアジア招待選手権大会の記事は、紙面の都合で次号へまわります。こちらも楽しいレセプションの写真など撮りまくって来ましたので、ご期待ください。

◆三月に予定してあった、全日本女子チャンピオンズ・トーナメントは四月二十四日（日）と決定いたしました。東京近郊の方は是非ご観覧を!!

▽出場選手
湯木博恵（河崎ラケット）
栂野尾悦子（ヨネックス）
植野恵美子（四条畷短大）
高田幹子（四条畷短大）
石川好子（四条畷高）
近藤小織（日本女子体育大）
石田雅子（岡山県教委）
徳田敦子（サントリー）

▽補欠選手
米倉よし子（日本女子体育大）
池田美加（河崎ラケット）
（於・代々木第二体育館）

◆バックナンバー一覧表が新しいものになりました。お求めになりたい方はお早めに!!

◆いよいよ春を迎え、海外、国内ともあわただしくなって来ました。海外では第六十七回全英選手権が開かれ、日本からも、小飼団長以下十六名もの役員・選手が参加しております。

国内でも、高校・大学は合宿のシーズンとなり、三月二十日、二十一日の両日は郡山で高校選抜大会が行われます。いずれも結果は本誌に掲載する予定ですのでお楽しみに。

◆好評だった〝ガッツ小島の実戦教室〟が皆様の要望により、再び来月号より復活いたします。〝女王〟湯木博恵さんにもご登場願い、交代で独自の筆をふるってもらいます。よろしく!!

バドミントン界　通巻第90号　1977年4月号　定価 300円

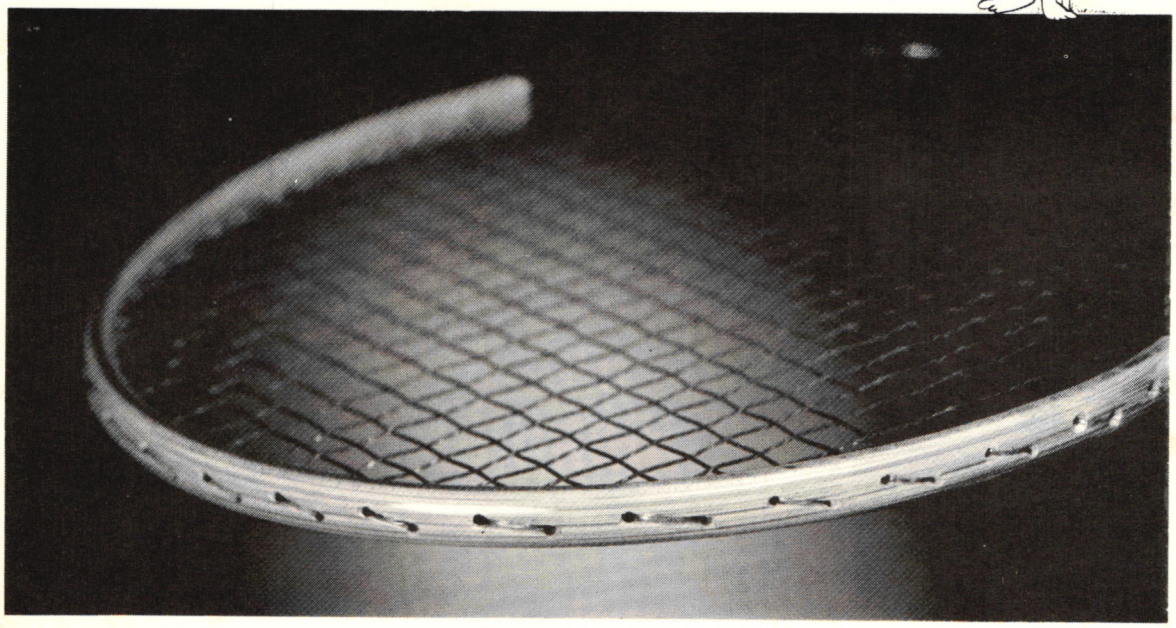
昭和52年4月1日発行
編集人／赤星　三樹
発行人／秦　浩

©1977　無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111（代表）内線351
振替　東京5-32193（協会）　東京5-9525（編集部）



竹の特性を生かした話題のバンブーラケット!!



竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積、ここに今話題のバンブーラケット〈ハイ・トーマス〉が誕生しました。

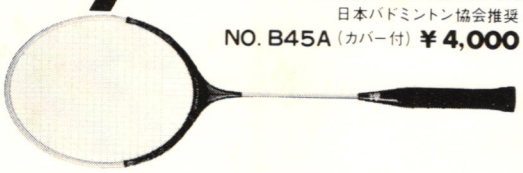
■竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。■薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。■ガット張りによるラケットの変形が起らない。■ソフトグリップが手に良くなじみます。

バドミントンラケット〈ハイ・トーマス〉

Hy-Thomas

日本バドミントン協会推奨

NO. B45A（カバー付）¥4,000



株式会社ゴーセン

本　　社・大阪市東区鎗屋町4　TEL.（06）942 5816代
東京支店・東京都台東区蔵前4 14 2 TEL.（03）862 6576代
福岡営業所・福岡市中央区薬院1 4 8 TEL.（092）712 5247～8

理想のガット〈ウインテックス〉!!

Wintex Racket String

TOURNAMENT GAUGE
1.39mm for TENNIS, 0.73mm for BADMINTON



弾力性・耐久性バツグンのステンレススチールワイヤー巻きの高級ガットです。

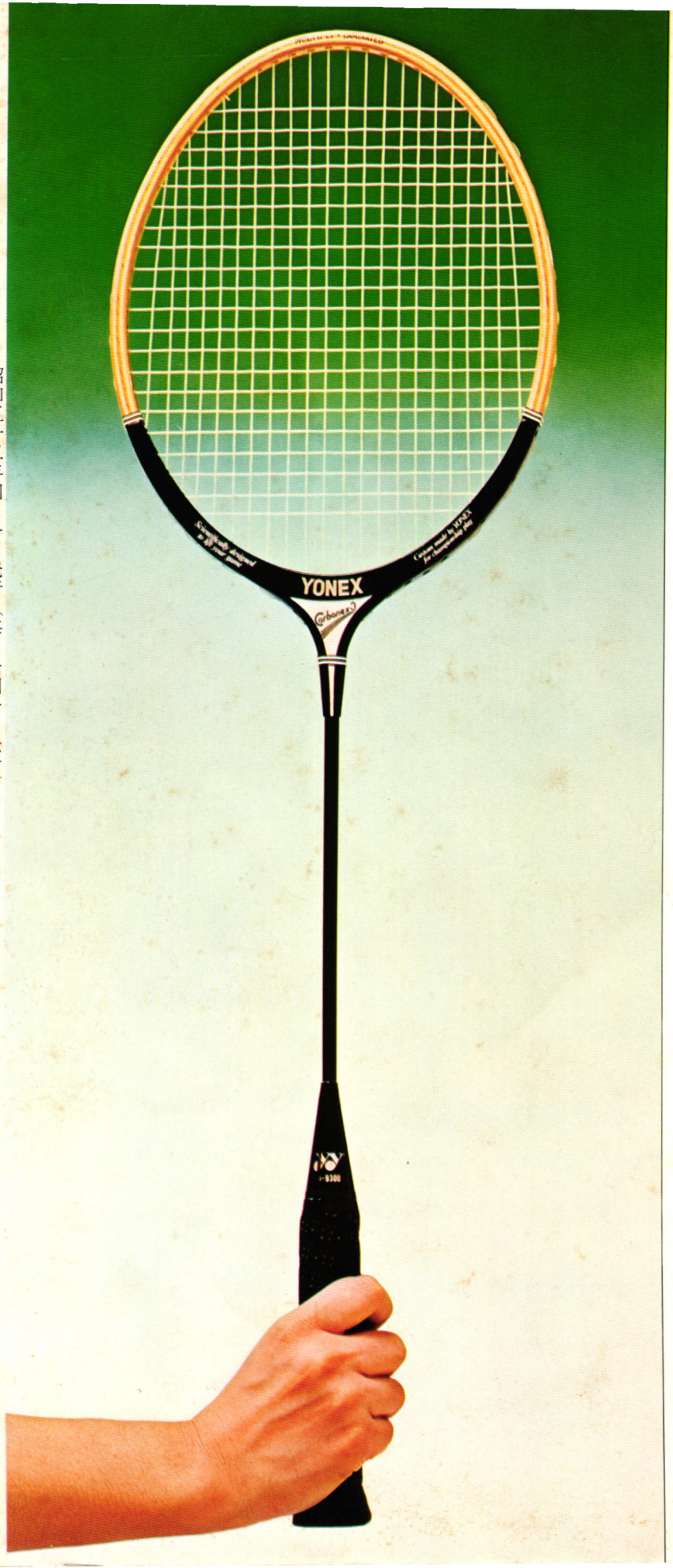
すばやい動きがいつもフレッシュ!!

Wintex WEAR



●カタログは、最寄の有名スポーツ用品店又は、(株)コーセン スポーツ用品部迄お問合せ下さい。

月刊「バドミントン界」第90号
昭和五十二年四月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日 第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
定価三〇〇円



凄いのが生まれた、カーボネックススリー。

ヨネックスがまた、世界で初めてということをやってのけました。それが、初のカーボンシャフトをもつラケット、カーボネックススリー。強烈な反発力。そしてすべてのストロークにぴたりと適合するというたぐいまれな特性は、まさにカーボンならではのもの。いわばオールマイティなラケットといえましょう。世界のトッププレイヤーが力から技へそしてまた力へと移ってきた今、その変化に応えられるのはこれ、カーボネックススリー。

B-9300 Carbonex3

●カーボネックス スリー《新製品》……¥7,500

YONEX